brother

ユーザーズガイド
－応用編－

やりたいこと目次
やりたいこと別の一覧があります。
５ページをご覧ください。

5ページ

Windows® 編

Macintosh編

付録

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編「こんなときは」で調べる

ユーザーズガイド 基本編

2 サポート ブラザー　検 索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version B JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』（基本編／ネットワーク編）をご覧いただき設置および接続が終了したら、『ユーザーズガイド 基本編』で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド 基本編
- 設置する
- パソコンへの接続
- ドライバー、ソフトウェアのインストール

■かんたん設置ガイド ネットワーク編
(DCP-390CN/595CN/MFC-495CN/695CDN/695CDWN/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN)
- ネットワークへの接続
- ドライバー、ソフトウェアのインストール

電話/ファクス/コピーの使い方を知りたい

■ユーザーズガイド 基本編*
- 電話をかける
- ファクスを送る
- コピーする
- デジタルカメラからプリントする
- RSS機能を使う
- トラブル対処/お手入れ方法
- 消耗品や部品の交換

使いたい機能をすばやく探せます。

HTML (CD-ROM)

画面で見るマニュアル（HTML形式）*

ユーザーズガイドの内容は、付属のCD-ROMに収録されている画面で見るマニュアル（HTML形式）からも閲覧できます。

基本編	応用編	ネットワーク設定編
・電話/ファクスの使用方法 ・RSS機能/プリンター/コピーの使用方法 ・デジタルカメラからプリント ・トラブル対処/お手入れ方法 ・消耗品や部品の交換	・プリンターとして使う ・スキャナーとして使う ・パソコンからファクスを送受信する ・RSS連携ユーティリティを活用する ・Control Centerで便利に使う	・LANにつないで使う ・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンターとして使うための設定

CD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルを見たいときは、つぎの手順で操作します。

Windows® の場合

パソコンにドライバーをインストールすると「画面で見るマニュアル（HTML形式）」のショートカット がデスクトップに作成されます。 をクリックすると、画面で見るマニュアルが閲覧できます。

Macintoshの場合

1 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする
2 「Documentation」をダブルクリックする
3 「top.html」をダブルクリックする

◆画面で見るマニュアル（HTML形式）が表示されます。

最新版のマニュアルが、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

PDF

■ユーザーズガイド
- 基本編
- 応用編
- ネットワーク設定編
(DCP-390CN/595CN/MFC-495CN/695CDN/695CDWN/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN)

■かんたん設置ガイド
- 基本編
- ネットワーク編
(DCP-390CN/595CN/MFC-495CN/695CDN/695CDWN/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN)

＊ 記載されている機能はモデルによって異なります。

最新のドライバーや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーやファームウェアを弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

最新のドライバーをお使いいただくことで、新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルがあるときも、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/ へ

目次

Macintosh 編

第 11 章 フォトメディアキャプチャ ...132

第 12 章 リモートセットアップ（MFC モデルのみ）...........136

第 13 章 便利な使い方（ControlCenter2）.........141

付　録

本書の見かた

● 本書で使用されている記号

本書では、次の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
(メモアイコン)	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
(矢印)	参照先などを記載しています。

● 液晶ディスプレイモデル／タッチパネルモデルについて

本書では、DCP-390CN/595CN、MFC-495CN/675CD/675CDW/695CDN/695CDWN を液晶ディスプレイモデル、MFC-735CD/735CDW/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN をタッチパネルモデルと記載しています。

● 本書で使用されているイラスト

外観イラストは MFC-695CDN を代表で使用しています。

操作パネルのボタンのイラストは、液晶ディスプレイモデルでは MFC-695CDN を、タッチパネルモデルでは MFC-J950DN を使用しています。お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、お使いの OS や環境またはモデルによって、実際の画面と異なることがあります。

必要なソフトウェア

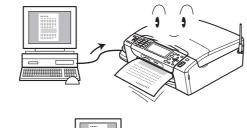
本製品をプリンターやスキャナーとして使うには、付属の CD-ROM に収録されているドライバーとソフトウェアをインストールする必要があります。

パソコンとの接続やドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をお読みください。

やりたいこと目次

● プリンター

● プリンターとして使う

本製品とパソコンを接続して、プリンターとして利用できます。
ネットワーク対応モデルの場合は、ネットワーク上の複数のパソコンから印刷することもできます。

[Windows® の場合]

[Macintosh の場合]

● 記録紙いっぱいに印刷する［ふちなし印刷］

余白が出ないように、ハガキなどにいっぱいに印刷できます。
Windows® では付属ソフト FaceFilter Studio を利用すると、より簡単に設定できます。

[Windows® の場合]

25 ページ

[Macintosh の場合]

103 ページ

● 設定を選んで印刷する［おまかせ印刷］

あらかじめ登録されている設定を選ぶだけで、印刷できます。
(Windows® のみ)

[Windows® の場合]

23 ページ

● 写真をプリント／加工する［FaceFilter Studio］

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させたりすることもできます。
(Windows® のみ)

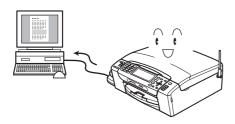
[Windows® の場合]

25 ページ

● スキャナー

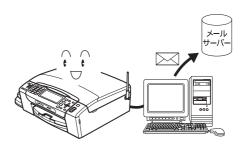
ネットワーク対応モデルの場合は、ネットワーク環境で本製品をスキャナーとして利用できます。

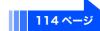
● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する
［スキャン TO ファイル］

スキャンした原稿を、パソコンの指定したフォルダーに保存します。

［Windows® の場合］

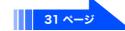
［Macintosh の場合］

● 原稿をスキャンして E メールで送る
［スキャン TO E メール添付］

スキャンした原稿を E メールに添付して送信します。

［Windows® の場合］

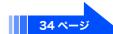
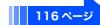
［Macintosh の場合］

● 文字を修正できるようにスキャンする
［スキャン TO OCR］

スキャンした画像データを解析して、文書（テキスト）データに変換できます。

［Windows® の場合］

［Macintosh の場合］

● 原稿をスキャンして
メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存する
［スキャン TO メディア］

スキャンした原稿を本製品に接続したメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存できます。

［Windows® の場合］

［Macintosh の場合］

● PC-FAX

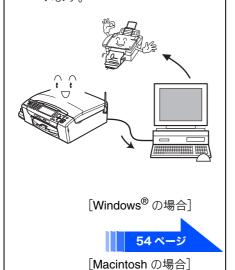
● パソコンからファクスを送る
[PC-FAX 送信]

パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。
※ネットワーク環境にも対応しています。

[Windows® の場合]

54 ページ

[Macintosh の場合]

129 ページ

● アドレス帳を利用する
[PC-FAX アドレス帳]

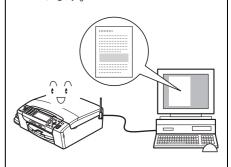
PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Outlook® Express、Outlook® のアドレス帳データを使用することもできます。(Windows® のみ)

[Windows® の場合]

[Macintosh の場合]

130 ページ

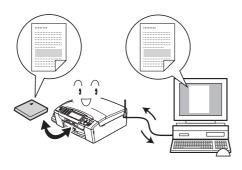
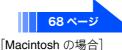
● 受信したファクスをパソコンで確認する
[PC-FAX受信] (Windows®のみ)

受信したファクスを本製品と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。
※ネットワーク環境にも対応しています。

[Windows® の場合]

63 ページ

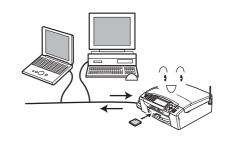
● フォトメディアキャプチャ

● メディアをリムーバブルディスクとして利用する

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

[Windows® の場合]

[Macintosh の場合]

134 ページ

● ネットワークでメディアを利用する
[ネットワークメディアアクセス]

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアにアクセスします。

[Windows® の場合]

[Macintosh の場合]

● RSS 設定（MFC-J950DN/J950DWN のみ）

● **ウェブサイトから発信されるニュースなどを本製品の画面に表示する**

本製品の画面に表示されているニュースなどをより詳しく見たいときは、接続されているパソコンにワンタッチでそのウェブサイトを表示させることもできます。（Windows® のみ）

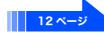
※図中のウェブサイト、タイトル、要約記事は実際の画面とは異なることがあります。

［Windows® の場合］
76 ページ

● その他

● **パソコンからインク残量を確認する［ステータスモニタ］**

現在のインク残量を確認できます。

［Windows® の場合］

［Macintosh の場合］
150 ページ

● **スキャナー、PC-FAX などを簡単に起動する［ControlCenter］**

スキャナーや PC-FAX、リモートセットアップ機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。

［Windows® の場合］

［Macintosh の場合］

第 1 章 プリンター

プリンターとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をプリンターとして使用する場合、付属の CD-ROM に収録されているプリンタードライバーをインストールする必要があります。
パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。

記録紙について

本製品をプリンターとして使う場合の記録紙については、ユーザーズガイド 基本編をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

印刷する

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ**

2 **［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする**

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 **必要に応じて各項目を設定する**

設定内容の詳細について

⇒ 14 ページ「印刷の設定を変更する」

4 **［OK］をクリックする**

設定した内容が有効になり、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 **［OK］をクリックする**

ファイルが印刷されます。

次回の印刷から本製品が選ばれ、設定した内容で印刷されます。

ファクスを送受信中に印刷する

ファクスを送受信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。
ただし、受信したファクスを印刷している間は、印刷が一時的に停止します。ファクスの出力が完了したあとで、印刷が再開されます。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。画面に「データが残っています」と表示されている場合は、残っているデータを消します。

1 **を押す**

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「印刷テストを行う」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

1 **を押す**

印刷がキャンセルされます。

印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）

使用しているパソコンから、本製品の印刷状況やインクの残量、記録紙の有無などを確認できます。
ブラザー純正のインクや記録紙など、消耗品をご購入いただくためのサイトにジャンプすることもできます。

本製品の状態を確認する

パソコンを起動すると、タスクトレイに本製品の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

アイコン	状態
● 緑色のアイコン	本製品は正常に動作しています。
● 黄色のアイコン	本製品は警告状態です。
● 赤色のアイコン	本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題が解決しないときは、ユーザーズガイド 基本編をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド　基本編「困ったときは」
● 灰色のアイコン	本製品の電源が入っていないか、接続が遮断されています。オフライン状態です。

お買い上げ時の設定ではタスクトレイにアイコンが表示されますが、デスクトップに表示させることもできます。表示させる内容や場所を変更するときは、タスクトレイのアイコンを右クリックして、［表示場所］を選択して、設定します。

ステータスモニタのウインドウを表示する

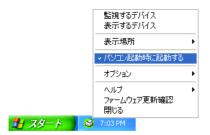
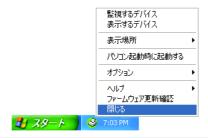
1 タスクトレイのアイコン をダブルクリックする

ステータスモニタのウィンドウが表示されます。

タスクトレイにアイコンが表示されていない場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニタ］を選びます。

ステータスモニタを表示しない

ステータスモニタを常に表示しないときは、以下の手順で操作します。

1 タスクトレイのアイコンを右クリックし、［パソコン起動時に起動する］を選んでチェックをはずす

2 タスクトレイのアイコンを右クリックし、［閉じる］を選ぶ

ステータスモニタのアイコンがタスクトレイから消えます。

タスクトレイにアイコンが表示されていない場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニタ］を選びます。

純正消耗品のご案内サイトにジャンプする

ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページを表示することができます。

1 ［ブラザー純正消耗品サイトのご案内］をクリックする

Internet Explorer® などのウェブブラウザーが起動し、ブラザー純正消耗品のご案内ページが表示されます。

印刷の設定を変更する

パソコンから印刷するときは、印刷する内容に合わせてプリンタードライバーで設定を行います。プリンタードライバーで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。機能の詳細は、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

最新のプリンタードライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

注意

- お使いの OS によっては利用できない項目があります。
- お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

「基本設定」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

① **現在の設定**

用紙種類、印刷品質など現在の設定が表示されています。

② **プリンタの状態を確認**

ステータスモニターが起動し、本製品の状態を表示します。

③ **サポート**

クリックすると、本製品にインストールされているドライバーのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。
⇒ 23 ページ「サポート情報の表示」

④ **乾きにくい紙**

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

⑤ **用紙種類**

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー BP71 写真光沢紙
ブラザー BP61 写真光沢紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面（通信面）

⑥ 印刷品質

文書をどのような品質で印刷するかを選びます。選べる印刷品質は、⑤で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	内容	印刷速度
最高速	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く（「普通」の 2 ～ 3 倍の速度）、インクの消費量も少なくなります。	速い
高速	印刷速度を優先するとき ※「普通」の約 2 倍早く印刷できます。	↑
普通	通常の印刷のとき （品質と印刷時間のバランスがとれています。）	
きれい	「普通」より高画質で印刷するとき	↓
写真	写真のような精密なイメージを印刷するとき	
写真 （最高画質）	最高画質で印刷するとき （高解像度で印刷するので、印刷にかかる時間は長くなります。）	遅い

印刷品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

● 用紙種類と印刷品質の関連について

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は次のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙	最高速 / 高速 / **普通** / きれい
インクジェット紙	きれい / **写真**
ブラザー BP71 写真光沢紙 / ブラザー BP61 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	きれい / **写真** / 写真（最高画質）
OHP フィルム	**普通** / きれい
写真用はがき 宛名面	最高速 / 高速 / 普通 / **きれい**

⑦ ふちなし印刷

⑧の「用紙サイズ」で「（フチナシ）」表示のある用紙が選択されると自動的にチェックされます。
ふちなし印刷ができる用紙の条件は次のとおりです。

用紙サイズ	A4/ レター /A6/ ハガキ /L 判 /2L 判 / ポストカード / インデックスカード
用紙種類	普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー BP71 写真光沢紙 / ブラザー BP61 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 宛名面 / 写真用はがき 裏面（通信面）
印刷品質	高速 / 普通 / きれい / 写真 / 写真（最高画質）

アプリケーションによってはふちなし印刷が有効にならない場合があります。

FaceFilter Studio を使うと、簡単にふちなし印刷ができます。
⇒ 25 ページ「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

⑧ 用紙サイズ

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選びます。選択肢にないサイズの記録紙に印刷したいときは、「ユーザ定義サイズ」を選んで、任意の用紙サイズを登録します。

設定	サイズ
A4	210 × 297mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル	215.9 × 355.6mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
JIS B5	182 × 257mm
A5	148 × 210mm
A6	105 × 148mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
C5 封筒	162 × 229mm
Com-10	104.7 × 241.3mm
DL 封筒	110 × 220mm
モナーク	98.4 × 190.5mm
洋形 4 号封筒	105 × 235mm
ユーザ定義サイズ＊1	88.9 × 127.0mm（最小） 215.9 × 355.6mm（最大）
A3＊2	297 × 420mm
JIS B4＊2	257 × 364mm
レジャー＊2	279.4 × 431.8mm

＊1　モデルによって、設定できる数値が異なります。

＊2　［A3］、［JIS B4］または［レジャー］を選択すると、印刷可能な用紙サイズに自動的に縮小して印刷します。

ふちなし印刷ができる用紙には（フチナシ）がついています。ふちなし印刷を行う場合は（フチナシ）の用紙を選んでください。

● ユーザ定義サイズ

ユーザ定義サイズは、次の手順で設定します。

(1)　**使用する用紙のサイズをはかる**

(2)　**「ユーザ定義サイズ」を選ぶ**

(3)　**用紙サイズに名前を付ける**

(4)　**用紙サイズの単位（ミリまたはインチ）を選ぶ**

(5)　**長さと幅を入力する**

(6)　**用紙の厚み（普通 / 厚紙 / 封筒）を選ぶ**

普通紙を使う場合は「普通」を、厚い用紙を使う場合は「厚紙」を、封筒を使う場合は「封筒」を選びます。

(7)　**［保存］をクリックする**

入力した名前で、用紙サイズが登録されます。

アプリケーションによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。お使いのアプリケーションに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。

最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

⑨ カラーモード

「ナチュラル」または「鮮やか」を選びます。「ナチュラル」を選ぶと自然な色合いに、「鮮やか」を選ぶとよりはっきりした色合いになります。

⑩ 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を設定します。

縦	横

⑪ 部数

印刷する部数と印刷順序を設定します。

設定	内容
部数	印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。
部単位で印刷	チェックすると、文書一式が一部印刷されてから、設定した部数だけ印刷が繰り返されます。チェックを外すと、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
逆順で印刷	チェックすると、文書が最後のページから印刷されます。

⑫ レイアウト

1 ページのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷できます。（下図は印刷の向きを「縦」に設定した場合の印刷結果イメージです。）

設定	印刷結果イメージ
1 ページ / 枚	そのままのサイズで印刷します。
2 ページ / 枚	1 枚の記録紙に 2 ページを縮小して印刷します。 1 2
4 ページ / 枚	1 枚の記録紙に 4 ページを縮小して印刷します。 1 2 3 4
9 ページ / 枚	1 枚の記録紙に 9 ページを縮小して印刷します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9
16 ページ / 枚	1 枚の記録紙に 16 ページを縮小して印刷します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

設定	印刷結果イメージ
縦2枚×横2枚	4 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。
縦3枚×横3枚	9 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。

⑬ ページの順序

ページの配置順序を選択します。

⑭ 仕切り線

⑫のレイアウトで複数のページを 1 枚の用紙に印刷する設定を選択した場合は、ページの間に実線または破線の境界線を印刷できます。

「拡張設定」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは、［標準に戻す］をクリックします。

① カラー / モノクロ

「カラー」か「モノクロ」を選びます。

設定	内容
カラー	カラーで印刷されます。
モノクロ	256 階調のグレースケールで印刷されます。

● カラー設定

［カラー設定］をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

(A) 画質強調

チェックすると、次の各設定を変更できます。この機能は、画像を自動分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、色の濃さを改善するものです。画像データの容量やパソコンの仕様によっても異なりますが、この処理には数分かかります。
画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効です。メガピクセルのデジタルカメラで撮影した画像データは、画質強調しないでプリントしてください。

- カラー濃度
  画像中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。画像の色の量を増減し、色あせた画像や弱々しい画像を改善できます。
- ホワイトバランス
  画像中の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 明るさ
  画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト（濃淡）
  画像のコントラスト（濃淡）を調整します。
- 赤・緑・青
  画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
  例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

(B) 双方向印刷

チェックするとプリントヘッドが両方向から印刷を行います。
チェックを外すと、片方向印刷になります。印刷速度は遅くなりますが印刷品質は向上します。

設定	内容
チェックなし	一方向から印刷します。（印刷品質が良い）
チェックあり	双方向から印刷します。（印刷速度が速い）

(C)　**パターン印刷を改善する**

パソコンで表示されるパターンと異なる印刷がされる場合に選択します。

② **インク節約モード**

チェックすると、文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えることができます。

> 文書の種類によっては、印刷結果がイメージと異なることがあります。
>
> 「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。
>
>
>

③ **拡大縮小**

印刷したい内容の拡大縮小を設定します。

設定	内容
オフ	拡大縮小しないとき選びます。（画面に表示されたとおりに印刷されます。）
印刷用紙サイズに合わせます	印刷に使用する用紙サイズに合わせて、文書のサイズを拡大または縮小するとき選びます。
任意倍率	拡大または縮小したいとき選びます。（25 ～ 400％の間で、任意の倍率を設定します。）

④ **左右反転**

チェックすると、左右を反転して印刷できます。

> 「用紙種類」で「OHP フィルム」を選んでいるときは設定できません。

⑤ **上下反転**

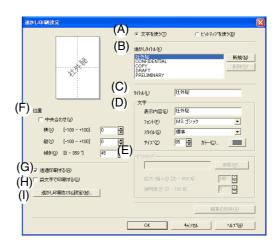
チェックすると、上下を反転して印刷できます。

> 「用紙種類」で「OHP フィルム」を選んでいるときは設定できません。

⑥ **透かし印刷**

チェックすると、背景に透かしをいれて印刷できます。

● **透かし印刷設定**

［透かし印刷設定］をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

(A)　**文字を使う／ビットマップを使う**

透かしを文字にするか、画像（ビットマップ）にするかを選びます。

(B)　**透かしタイトル**

使用する透かしを選びます。新しく透かしを作るときは、［新規］をクリックします。

(C)　**タイトル**

透かしのタイトルが表示されます。新しく透かしを作るときは、ここにタイトルを入力します。

(D)　**文字**

透かしが文字の場合、「表示内容」に透かしにする文字を入力し、フォント、スタイル、サイズ、カラーを設定します。

(E)　**ビットマップ**

透かしがビットマップ形式の画像の場合、［参照］をクリックするか、データが保存されている場所のパスを入力して指定します。
また、画像のサイズや画像の濃さ（透明度）を設定できます。

(F)　**位置**

透かしを入れる位置を設定します。

(G)　**透過印刷する**

チェックすると、設定した文字や画像が透かしとして印刷されます。

(H)　**袋文字で印刷する**

チェックすると、透かし文字が袋文字で印刷されます。

(I)　**透かし印刷カスタム設定**

クリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

- 透かし印刷設定

  透かしの印刷の設定を選びます。

設定	内容
全ページ	透かしが全ページに印刷されます。
開始ページのみ	透かしが開始ページにのみ印刷されます。
2 ページ目から	透かしが 2 ページ目から印刷されます。
カスタム	透かしを印刷するページと内容をそれぞれ設定します。

⑦ その他特殊機能

クリックすると、次のように表示されます。

(A) **日付・時間を印刷する**

［印刷する］をチェックすると、設定した日付と時刻を文書に印刷できます。

(B) **スライドトレイの使い方を表示する**

スライドトレイの使い方を説明したヘルプを表示するかしないかを設定します。

(C) **印刷データ圧縮方法の切り替え**

プリンターに転送するデータの圧縮方法を「推奨設定」、「画質を優先する」、「転送速度を優先する」から選択できます。通常は、「推奨設定」にしてください。

(D) **カラー詳細設定**

ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。画像にあわせて適切な方法を選んでてください。

設定	内容
誤差拡散	点を無作為に配置して、ハーフトーンを表現します。図表や微妙な影を持つ写真を印刷するのに適しています。
ディザ	色をあらかじめ決められたパターンで配置して、ハーフトーンを表現します。色の境界がはっきりしている図や業務用グラフなどを印刷するのに適しています。
モニターに合わせる	印刷する色をパソコンのモニターで見ている色に最も近くなるように調整します。

(E) **印刷ページ設定**

奇数ページのみ、偶数ページのみを印刷するように設定できます。

> 用紙サイズが A4 またはレターサイズ、用紙種類が普通紙の場合、奇数ページ／偶数ページのみの印刷ができます。

記録紙の両面に印刷する

「印刷ページ設定」の機能を使って、記録紙の両面に印刷することができます。

1 両面印刷したいファイルを開き、［印刷］ダイアログボックスを開く

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］などを選ぶと表示されます。

2 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする

プリンタードライバーの画面が表示されます。

3 「基本設定」タブの「逆順で印刷」をチェックする

4 「拡張設定」タブの［その他特殊機能］をクリックする

5 「印刷ページ設定」をクリックし、「奇数ページのみを印刷」を選び、［OK］をクリックする

6 ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じ、印刷を行う

ファイルの奇数ページのみが印刷されます。

7 奇数ページのみ印刷された記録紙を取り出し、インクを乾かす

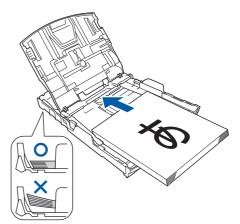
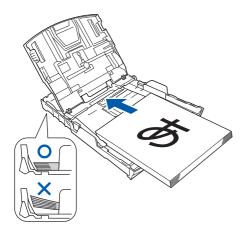
8 インクが乾いたら、紙がカールしていないことを確認して、空の記録紙トレイに手順 7 の記録紙をセットする

印刷された面を上にしてセットします。

他の記録紙（白紙のもの）は、セットしないでください。

注意

- インクが乾いていること、記録紙がカールしていないことを確認してからセットしてください。紙づまりなどの原因となり、うまく両面印刷できないことがあります。

● 縦向きの場合

● 横向きの場合

9 プリンタードライバーの「基本設定」タブで、「逆順で印刷」のチェックを外す

10 「拡張設定」タブの［その他特殊機能］をクリックする

11 「印刷ページ設定」をクリックし、「偶数ページのみを印刷」を選び、［OK］をクリックする

12 ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じ、印刷を行う

ファイルの偶数ページのみが印刷されます。

サポート情報の表示

プリンタードライバーダイアログの［サポート］をクリックすると、本製品にインストールされているドライバーのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。

① Brother Solutions Center
（ブラザーソリューションセンター）
クリックすると、よくあるご質問（Q&A）、最新のドライバーやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

② ブラザー純正消耗品のご案内
クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

③ 設定の確認
クリックすると、現在の基本的なドライバー設定の一覧が表示されます。

「おまかせ印刷」タブの設定

本製品のプリンタードライバーには、あらかじめ「通常印刷（A4)」「L 判いっぱいに写真印刷」など 11 種類の印刷設定が登録されています。登録されている設定を使うと、目的に応じた印刷が簡単に行えます。

① 項目
目的に応じた印刷設定を選び、［OK］をクリックすると、設定内容が読み込まれます。

> 設定項目について詳しくは、次をご覧ください。
> 印刷部数、印刷方向、部単位で印刷
> ⇒ 14 ページ「「基本設定」タブの設定」
> 透かし印刷
> ⇒ 18 ページ「「拡張設定」タブの設定」

② 新規登録
クリックすると、新しい設定を登録できます。
⇒ 24 ページ「「おまかせ印刷」の設定を登録する」

③ すべてのおまかせを工場出荷値に戻す
クリックすると、おまかせ設定がすべて初期値に戻ります。

「おまかせ印刷」の設定を登録する

「おまかせ印刷」の設定を変更して、よく使う印刷設定として登録できます。

1 プリンタードライバーで、登録したい印刷設定に変更する

⇒ 14 ページ「印刷の設定を変更する」

2 「おまかせ印刷」タブをクリックする

3 ［新規登録］をクリックする

「おまかせ印刷」の印刷設定一覧が表示されます。

4 アイコン (1) を選び、登録したい名称を入力 (2) する

5 上書きしたい設定を選び、［OK］をクリックする

「ユーザー設定」以外の設定内容も書き換えることができます。

設定した印刷設定が、「おまかせ印刷」に登録されます。

おまかせ印刷の設定内容をお買い上げ時の設定に戻すときは

おまかせ印刷の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、［すべてのおまかせを工場出荷値に戻す］をクリックします。

FaceFilter Studio で写真をプリントする

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できる Reallusion, Inc のソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整することができます。

FaceFilter Studio
Brother Edition

FaceFilter Studio を使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されている FaceFilter Studio をインストールする必要があります。

> FaceFilter Studio のインストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。
>
> ここでは、FaceFilter Studio の基本的な操作を説明します。操作の詳細については、FaceFilter Studio のヘルプをご覧ください。ヘルプは、メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio Help］を選んで開いてください。

FaceFilter Studio を起動する

1 本製品の電源を入れる

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Reallusion］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio］を選ぶ

本製品の電源が入った状態ではじめて FaceFilter Studio を起動すると、次の画面が表示され、本製品が自動的に検出されます。

3 ［継続］をクリックする

FaceFilter Studio がすべての機能が使える状態で起動します。

> 本製品の電源が切れた状態で FaceFilter Studio を起動すると、FaceFilter Studio が機能を制限された状態で起動します（機能制限版）。画面上部にあるメニューの印刷アイコンは薄く表示され、印刷機能は使用できません。また、写真は「FaceFilter」のすかし文字入りで表示・保存されます。
>
>
>
>
> FaceFilter Studio のすべての機能を利用するには、本製品の電源を入れてから、FaceFilter Studio を起動してください。

写真をプリントする

1 ［開く］をクリックして、プリントするデータを選ぶ

2 メニューバーの［印刷］をクリックする

3 左の［印刷］をクリックする

印刷ダイアログボックスが表示されます。

4 用紙サイズ、用紙の向き、部数などを設定する

写真をふちなし印刷するには、「拡大縮小」の「フルページフォト」、および「用紙サイズ」の「(フチナシ)」を選択してください。

5 ［印刷設定］をクリックする

6 本製品を選択し、［OK］をクリックする

ブラザー写真光沢紙を使用するには、［プロパティ］をクリックし、プリンタードライバーのダイアログボックスで、「用紙種類」と「印刷品質」を設定してください。

7 ［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする

写真がプリントされます。

明るさを自動調整する（スマートポートレート）

スマートポートレートは、顔がはっきり見えるよう、写真の明るさを自動調整する機能です。

1 ［開く］をクリックして、写真を選ぶ

2 スマートポートレートアイコンをクリックする

明るさが自動的に調整されます。

3 スライダーをドラッグして、明るさを調節する

4 ［OK］をクリックする

明るさが確定します。

赤目を修正する

フラッシュ撮影時の赤目を修正します。

1 ［開く］をクリックして、写真を選ぶ

2 赤目修正アイコンをクリックする

赤目が自動的に修正されます。

「自動赤目探知」を使用すると、写真内のすべての赤目が自動的に探知され、点線の四角で囲まれます。「赤目限界値」のスライダーをドラッグすると、囲まれた領域の色を調節できます。

3 ［OK］をクリックする

赤目が修正されます。

表情を加工してプリントする

FaceFilter Studio では、表情テンプレートの利用または手動操作で、写真の人物の表情をさまざまに変化させることができます。「表情の選択」の操作では、選択した表情の一覧をプレビューで表示したりプリントすることもできます。

FaceFilter Studio をアンインストールする

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Reallusion］－［FaceFilter Studio］－［Uninstall FaceFilter Studio］を選ぶ

画面の指示に従って、アンインストールします。

第 2 章 スキャナー

このユーザーズガイド 応用編は MFC-735CD/735CDW/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN をタッチパネルモデル、それ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

スキャナーとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をスキャナーとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバーをインストールする必要があります。
また、スキャナーを便利に使いこなすために Presto! PageManager の使用をお勧めします。Presto! PageManager を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- ドライバーやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をお読みください。
- スキャン TO OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。
- Presto! PageManager は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、HTML 形式、PDF 形式で保存できるので、Microsoft® Word や Adobe® Acrobat® で編集できます。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は次のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。「WIA（Windows® Imaging Acquisition）」は Windows® でデジタルカメラやスキャナーなどから USB などを通して画像を取り込むためのものです。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンボタンからネットワークスキャン機能を使うには、スキャンしたデータを受信するパソコンでスキャンボタンの登録が必要です。初期設定では、スキャンしたデータは「かんたん設置ガイド」（ネットワーク編）に記載されているインストール手順を行ったパソコンに保存されます。このまま使用する場合は設定の必要はありません。登録したパソコンの名前を変更する場合は、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
  ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「ネットワークスキャンの設定」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

やりたいこと	使用する機能または アプリケーション	詳細	ページ
スキャンデータを編集したい	スキャン TO イメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	30 ページ
	スキャン TO OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word 等で編集できます。	31 ページ
	TWAIN/WIA ドライバー対応のアプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	39 ページ
スキャンデータを送りたい	スキャン TO E メール添付	スキャンしたデータをパソコンから新規メールとして送信します。（複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。）	32 ページ
スキャンデータを保存したい	スキャン TO ファイル	スキャンしたデータをパソコン上のハードディスクに保存します。	33 ページ
	スキャン TO メディア	スキャンしたデータを本製品に差し込んだメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存します。	34 ページ

本製品からスキャンする（パソコンに送る場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を押してスキャンしたデータを、パソコンに送ってさまざまな形で利用します。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る

［スキャン TO イメージ］

原稿をスキャンして、画像データとしてパソコンに保存します。

- あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter3 で確認してください。設定の変更も ControlCenter3 から行います。⇒ 87 ページ「スキャンの設定を変更する」
- 原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして、保存することもできます。ControlCenter3 の「本製品上のスキャンボタン設定」タブで「自動切り取り」を設定してください。⇒ 88 ページ「スキャンの設定」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【イメージ：PC 画像表示】を選び、OK を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先のパソコンを選び、OK を押す

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※修正するには クリア/バック を押してください。
>
> ※モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 スタート モノクロ または スタート カラー を押す

あらかじめ ControlCenter3 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿が画像データとして表示されます。

> ControlCenter3 で設定されているアプリケーションが起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【イメージ：PC 画像表示】を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先のパソコンを選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) OK を押す
>
> ※修正するには クリア を押してください。

5 スタート モノクロ または スタート カラー を押す

あらかじめ ControlCenter3 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿が画像データとして表示されます。

> ControlCenter3 で設定されているアプリケーションが起動します。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

[スキャン TO OCR]

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

- スキャン TO OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。
- あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter3 で確認してください。設定の変更も ControlCenter3 から行います。⇒ 87 ページ「スキャンの設定を変更する」
- 原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして、保存することもできます。ControlCenter3 の「本製品上のスキャンボタン設定」タブで「自動切り取り」を設定してください。⇒ 88 ページ「スキャンの設定」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【OCR：テキストデータ変換】を選び、OK を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先のパソコンを選び、OK を押す

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア/バック を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

文字データのため、モノクロでスキャンされます。

スキャンされた原稿が文字データへ変換され、テキストデータが表示されます。

> ControlCenter3 で設定されているアプリケーションが起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【OCR：テキストデータ変換】を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先のパソコンを選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア を押してください。

5 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

文字データのため、モノクロでスキャンされます。

スキャンされた原稿が文字データへ変換され、テキストデータが表示されます。

> ControlCenter3 で設定されているアプリケーションが起動します。

スキャンした画像を E メールで送る

［スキャン TO E メール添付］

スキャンした画像を添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面を起動します。

あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter3 で確認してください。設定の変更も ControlCenter3 から行います。⇒ 87 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして、保存することもできます。ControlCenter3 の「本製品上のスキャンボタン設定」タブで「自動切り取り」を設定してください。⇒ 88 ページ「スキャンの設定」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【E メール：E メール添付】を選び、OK を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先のパソコンを選び、OK を押す

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ

(2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ

(3) すべて入力したら、OK を押す

※ 修正するには クリア/バック を押してください。

※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

あらかじめ ControlCenter3 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿を添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

ControlCenter3 で設定されているメールソフトが起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【E メール：E メール添付】を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先のパソコンを選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する

(2) OK を押す

※ 修正するには クリア を押してください。

5 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

あらかじめ ControlCenter3 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿を添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

ControlCenter3 で設定されているメールソフトが起動します。

スキャンした画像を指定したフォルダーに保存する

[スキャン TO ファイル]

原稿をスキャンしてパソコンの指定したフォルダーに保存します。

あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter3 で確認してください。設定の変更も ControlCenter3 から行います。⇒ 87 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして、保存することもできます。ControlCenter3 の「本製品上のスキャンボタン設定」タブで「自動切り取り」を設定してください。⇒ 88 ページ「スキャンの設定」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【ファイル：フォルダ保存】を選び、OK を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先のパソコンを選び、OK を押す

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ

(2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ

(3) すべて入力したら、OK を押す

※ 修正するには クリア/バック を押してください。

※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

あらかじめ ContorolCenter3 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿が保存されます。

ControlCenter3 で設定されている保存先に、指定したファイル形式で保存されます。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【ファイル：フォルダ保存】を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先のパソコンを選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンを選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する

(2) OK を押す

※ 修正するには クリア を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

あらかじめ ContorolCenter3 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

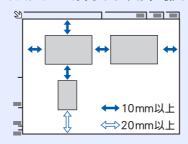
スキャンされた原稿が保存されます。

ControlCenter3 で設定されている保存先に、指定したファイル形式で保存されます。

本製品からスキャンする（パソコンに送らない場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を使ってスキャンする方法を説明します。

注意

■ 複数の原稿を一度にスキャンする場合（おまかせ一括スキャン）は、原稿セット時に次のような制限があります。
- ・ADF からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- ・すべての角が直角 (90°) の四角形の原稿のみスキャンできます。
- ・原稿台ガラスの端から 10mm 以上（手前部分のみ 20mm 以上）空けてセットしてください。
- ・原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- ・原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- ・短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- ・一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

スキャンした原稿をメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存する

［スキャン TO メディア］

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 （スキャン）を押す

4 ▲/▼ で、【メディア：メディア保存】を選び、OK を押す

5 ▲/▼ で、【スキャン画質】を選び、◀/▶ で、画質を選んで OK を押す

画質は次から選びます。
【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

6 ▲/▼ で、【ファイル形式】を選び、◀/▶ で、ファイル形式を選んで OK を押す

ファイル形式は次から選びます。
- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
  【PDF ／ JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
  【PDF ／ TIFF】

DCP-390CN/595CN の場合、手順 8 へ進みます。

7 ▲/▼ で、【ファイル名】を選び、ダイヤルボタンで保存するファイルの名前を入力し、OK を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。
- あらかじめ、設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
  例）2011 年 5 月 3 日の場合は、「110503XX」という名前が付けられます。(「XX」は通し番号です)
- ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベット、数字、記号で付けてください。
- 間違って入力した場合は、クリア/バック を押してファイル名を消去します。

8 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。すべての原稿がスキャンされたら終了です。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか？／はい⇒1を押してください／いいえ⇒2を押してください】と表示されます。

※ DCP-390CN/595CN の場合は、【次の原稿はありますか ？／はい ⇒⊞を押してください／いいえ⇒⊟を押してください】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 11 へ

読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 1 あ（MFC モデルの場合）または 枚数 ⊞（DCP モデルの場合）を押す

【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されます。

注意

■ 【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押したり、操作しないでしばらく放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、OK を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 9、10 を繰り返します。

11 すべての原稿をスキャンしたら、2 か ABC（MFC モデルの場合）または 枚数 ⊟（DCP モデルの場合）を押す

スキャンを終了します。

注意

■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたは USBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

DCP-390CN/595CN の場合、ファイル名はスキャンした日付が自動的に付けられています。本製品からファイル名を変更することはできません。
例）2011 年 5 月 3 日の場合は、「110503XX」という名前が付けられます。（「XX」は通し番号です）

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

(2) 原稿台ガラスに原稿をセットする

(3) スキャン を押す

(4) ▲/▼ で【メディア：メディア保存】を選び、OK を押す

(5) ▲/▼ で、【スキャン画質】を選び、◀/▶ で、画質を選んで OK を押す

(6) ▲/▼ で【ファイル形式】を選び、◀/▶ で保存するファイル形式を選んで、OK を押す

- 【PDF ／ TIFF】：
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7) ▲/▼ で【おまかせ一括スキャン】を選び、◀/▶ で【オン】を選んで、OK を押す

(8) スタート モノクロ または カラー スタート を押す

◆ スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(9) OK を押す

◆ スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◀ / ▶ で次の画像を確認することができます。

(10) OK を押す

◆ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

タッチパネルモデルの場合

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 スキャン を押す

4 【メディア：メディア保存】を押す

5 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

画質は次から選びます。
【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

6 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

ファイル形式は次から選びます。

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
  【PDF ／ JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
  【PDF ／ TIFF】

7 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、OK を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

- あらかじめ、設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
  例）2011 年 5 月 3 日の場合は、「110503XX」という名前が付けられます。（「XX」は通し番号です）
- ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベット、数字、記号で付けてください。
- 間違って入力した場合は、⌫ を押してファイル名を消去します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。すべての原稿がスキャンされたら終了です。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 11 へ

読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

注意

■ 【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押したり、操作しないでしばらく放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 9、10 を繰り返します。

11 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押す

スキャンを終了します。

注意

■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

(2) 原稿台ガラスに原稿をセットする

(3) スキャン を押す

(4) 【メディア：メディア保存】を押す

(5) 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

(6) 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 【PDF ／ TIFF】：
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7) ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【おまかせ一括スキャン】を押す

(8) 【オン】を押す

(9) スタート モノクロ または カラー スタート を押す

◆ スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10) OK を押す

◆ スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◀/▶ で次の画像を確認することができます。

(11)【全て保存】を押す

◆ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに画像が保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

アプリケーションからスキャンする（TWAIN）

本製品のドライバーは TWAIN 対応です。ドライバーにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

TWAIN 対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルでは、ADF を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。

Presto! PageManager は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。

1 Presto! PageManager を起動する

2 ［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選ぶ

3 接続している本製品（「TW-Brother XXX-XXXX」）を選択して、［OK］をクリックする

4 ［ツール］メニューから［スキャンの設定］を選ぶ

5 ［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする

6 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

7 初期画面の をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。

- いったん画像を確認（プレスキャン）するとき⇒手順 8 へ
- そのままスキャンするとき⇒手順 10 へ

8 ［プレビュー開始］をクリックする

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合：

・プレスキャンのため原稿が一度排出されます。複数枚の原稿をセットしている場合は、すべての原稿が読み込まれて排出されますが、プレビュー画面には 1 枚目の画像のみが表示されます。

・スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スキャン開始］をクリックします。

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

9 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）で複数枚の原稿をスキャンする場合にはプレビュー画面に表示された 1 枚目の画像でスキャン範囲を指定すると、その指定範囲がすべての原稿に適用されます。

10 解像度や明るさなどの項目を設定する

TWAIN ダイアログボックスの設定について

⇒ 41 ページ「TWAIN ダイアログボックスの設定について」

11 ［スキャン開始］をクリックする

原稿がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

12 スキャンが完了したら、［キャンセル］をクリックし、TWAIN ダイアログボックスを閉じる

13 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

TWAIN ダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。

① 簡単設定（イメージタイプ）

スキャンする原稿の種類や用途に応じて設定を選びます。選んだ設定に応じて、他の項目が最適に設定されます。

設定	内容
カラー写真	写真などのカラー原稿をスキャンするときに選びます。
ウェブ素材	スキャンした画像データをホームページに使用するときに選びます。
モノクロ文書	白黒の原稿をスキャンするときに選びます。

② 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は次のとおりです。

解像度	白黒 / グレー /256 階調グレー	256 色カラー	1677 万色カラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスク空き容量とスキャンにかかる時間が増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

③ 色数

取り込む色数を設定します。

設定	内容
白黒	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
256 色カラー	カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
1677 万色カラー	カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

④ ノイズ軽減

スキャンした画像のノイズを軽減します。スキャンした画像に乱れがある場合や、印刷すると縞状のパターンが発生する場合に使用します。
1677 万色カラーで解像度が 300 × 300dpi、400 × 400dpi、または 600 × 600dpi の場合に設定できます。

⑤ 明るさ／コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグして明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

注意

■ ③色数で「白黒」を選んだ場合は「明るさ」のみが調節できます。「256 色カラー」や「1677 万色カラー」を選んだ場合は「明るさ」、「コントラスト」の調節ができません。

⑥ 原稿サイズ

次のいずれかのサイズを設定します。

設定	サイズ
A4	210 × 297mm
JIS B5	182 × 257mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル＊1	215.9 × 355.6mm
A5	148 × 210mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
名刺	90 × 60mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
ユーザー定義サイズ＊2	

＊1 ADF 搭載モデルのみ対応しています。

＊2 「ユーザー定義サイズ」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。8.9 × 8.9mm から 215.9 × 297mm まで調整できます。
ADF 搭載モデルでは 215.9 × 355.6mm まで調整できます。
ADF 搭載モデルで、215.9 × 297mm 以上のサイズを選んだ場合は、ADF に原稿をセットしてください。

- ユーザー定義サイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスの左ボタンで、スキャン範囲の点線をドラッグします。
- 名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

アプリケーションからスキャンする（WIA）

本製品のドライバーは WIA 対応です。Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 をお使いの場合、ドライバーにより、WIA 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、次の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

> Presto! PageManager は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。

1 **Presto! PageManager を起動する**

2 **［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選び、接続している本製品（「WIA-Brother XXX-XXXX」）を選択する**

3 **［ツール］メニューから［スキャンの設定］を選び、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオフにする**

4 **原稿台ガラスに原稿をセットする**

5 **初期画面の をクリックする**

WIA ダイアログボックスが表示されます。

6 **「給紙方法」で「フラットベット」を選ぶ**

> ADF 搭載モデルでない場合、この操作は必要ありません。

- いったん画像を確認する（プレスキャン）するとき⇒手順 **7** へ
- そのままスキャンするとき⇒手順 **9** へ

7 **［プレビュー］をクリックする**

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

8 **点線をドラッグしてスキャンする範囲を調節する**

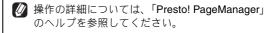
マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

9 **スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する**

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 45 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

10 **［スキャン］をクリックする**

画像がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

11 **画像を保存する**

> 操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）から原稿をスキャンする（ADF 搭載モデルのみ）

複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルでは、ADF を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

1 Presto! PageManager を起動する

2 ［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選び、接続している本製品（「WIA-Brother XXX-XXXX」）を選択する

3 ［ツール］メニューから［スキャンの設定］を選び、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオフにする

4 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

5 初期画面の をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。

6 「給紙方法」で「ドキュメントフィーダ」を選ぶ

注意

■ Windows® XP、Windows Vista® をお使いの場合、「プレビュー」をクリックすると、プレスキャンのためすべての原稿が読み込まれて一度排出され、プレビュー画面に 1 枚目の画像のみが表示されます。読み取り範囲を指定することはできません。スキャンするときは、原稿をセットし直してください。

7 スキャンする画像の種類、ページサイズ、品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 45 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

8 ［スキャン］をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

9 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

WIA ダイアログボックスの設定について

WIA ダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。

① 給紙方法（ADF 搭載モデルのみ）

原稿のセット方法を「ドキュメントフィーダ」か「フラットベット」から選びます。

「ドキュメントフィーダ」を選んだ場合は、ページサイズを指定します。また、Windows® 7 の場合は、画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

② 画像の種類

スキャンする画像の種類に応じて設定します。

設定	内容
カラー画像	カラーのとき選びます。
グレースケール画像	写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるときに選びます。（モノクロ 256 階調でスキャンします。）
白黒画像またはテキスト	テキストや線画の場合に選びます。（モノクロ 2 階調でスキャンします。）
カスタム設定	スキャンする項目を自由に設定できます。

③ スキャンした画像の品質の調整

「スキャンした画像の品質の調整」をクリックすると、「詳細プロパティ」ウインドウが表示され、スキャンする画像の詳細設定を調整できます。

(A) 明るさ／コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグし、明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

(B) 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。解像度は、100、150、200、300、400、600、1200dpi から選べます。

2400 ／ 4800 ／ 9600 ／ 19200dpi の解像度でスキャンするときは

2400 ／ 4800 ／ 9600 ／ 19200dpi の解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「スキャナユーティリティ」は次の方法で起動します。

(1) ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［スキャナ設定］－［Scanner Utility］を選ぶ

◆「スキャナユーティリティ」が起動します。

アプリケーションによっては、1200dpi 以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

④ ページサイズ

①給紙方法で「ドキュメントフィーダ」を選択した場合にページサイズを指定します。

Windows® フォト ギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使用する場合

Windows Vista®、Windows® 7 をお使いの場合、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAX とスキャン」で、画像を直接スキャンできます。

Windows® 7 は「Windows® FAX とスキャン」のみ対応しています。

原稿をスキャンする

原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、次の手順で操作します。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャナーとして、本製品を選ぶ

A)「Windows® フォトギャラリー」の場合

(1) ［ファイル］－［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選ぶ

(2) 接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［読み込み］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

(1) ［ファイル］－［新規作成］－［スキャン］を選ぶ

(2) 複数台接続している場合は、本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［OK］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

3 「スキャナの種類」で「フラットベット」を選ぶ

ADF 搭載モデルでない場合、この操作は必要ありません。

- いったん画像を確認する（プレスキャン）するとき⇒手順 4 へ
- そのままスキャンするとき⇒手順 6 へ

4 ［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

5 点線をドラッグしてスキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

6 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

新しいスキャンダイアログボックスの設定について
⇒ 49 ページ「新しいスキャンダイアログボックスの設定について」

7 ［スキャン］をクリックする

A)「Windows® フォトギャラリー」の場合

(1) ［画像とビデオを読み込んでいます］ダイアログが表示されたら、［読み込み］をクリックします。

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」に画像が表示されます。

B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

画像がスキャンされ、起動している「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

8 画像を保存する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）から原稿をスキャンする（ADF 搭載モデルのみ）

複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルでは、ADF を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

2 スキャナーとして、本製品を選ぶ

A)「Windows® フォトギャラリー」の場合

(1) ［ファイル］－［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選ぶ

(2) 接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［読み込み］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

(1) ［ファイル］－［新規作成］－［スキャン］を選ぶ

(2) 複数台接続している場合は、本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［OK］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

3 「スキャナの種類」で「フィーダ」を選ぶ

4 スキャンする画像の種類、ページサイズ、品質の項目を設定する

新しいスキャンダイアログボックスの設定について
⇒ 49 ページ「新しいスキャンダイアログボックスの設定について」

5 ［スキャン］をクリックする

A)「Windows® フォトギャラリー」の場合

(1) ［画像とビデオを読み込んでいます］ダイアログが表示されたら、［読み込み］をクリックします。

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」に画像が表示されます。

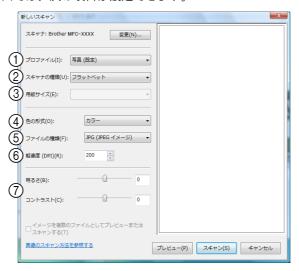
B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

画像がスキャンされ、起動している「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

6 画像を保存する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

新しいスキャンダイアログボックスの設定について

新しいスキャンダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。

① プロファイル

スキャンする原稿の種類や用途に応じて設定を選びます。選んだ項目に応じて、他の項目が自動的に最適なものに設定されます。

② スキャナの種類

原稿のセット方法を「ドキュメントフィーダ」か「フラットベット」から選びます。「ドキュメントフィーダ」を選んだ場合は、用紙サイズを指定します。画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

③ 用紙サイズ

②スキャナの種類で「ドキュメントフィーダ」を選択した場合に用紙サイズを指定できます。

④ 色の形式

スキャンする色の形式を設定します。

⑤ ファイルの種類

スキャンするファイルの種類を設定します。

⑥ 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。解像度は、100、150、200、300、400、600、1200dpi から選べます。

⑦ 明るさ／コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグし、明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

原稿の文字を修正できるようにスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、テキストデータに変換します。変換されたテキストデータはパソコン上で文字を編集できるだけではなく、保存するデータ容量も小さくなります。ここでは Presto! PageManager から操作する方法を説明します。

- Presto! PageManager は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。
- スキャンする原稿はできるだけ汚れなどの少ないきれいなものを使用してください。正しく文字が認識される確率が高くなります。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Presto! PageManager xxx］－［Presto! PageManager xxx］を選ぶ

Presto! PageManager が起動します。

3 ［ツール］メニューから［スキャンの設定］を選び、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオンにする

4 ［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

5 をクリックする

原稿がスキャンされます。

6 をクリックする

スキャンした画像から文字認識を行います。

スキャン済みのデータを使用するときは

Presto! PageManager のデスクトップ表示エリアにあるサムネール（画像データ）をクリックして選びます。

第 3 章 PC-FAX（MFC モデルのみ）

このユーザーズガイド 応用編は MFC-735CD/735CDW/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN をタッチパネルモデル、それ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

PC-FAX を使う前に

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に設定できます。（⇒ 56 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」）また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

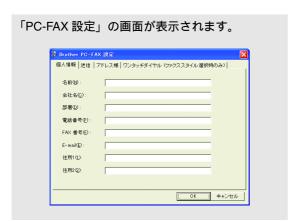
注意

■ 型番の先頭に「DCP」がついている機種をお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。

個人情報を登録する

ファクスのヘッダーと送付書に挿入される個人情報を設定します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 「個人情報」タブをクリックし、個人情報を入力する

3 ［OK］をクリックする

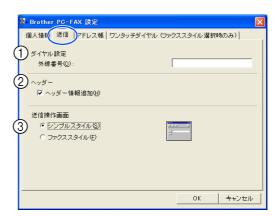
個人情報が保存されます。

送信の設定をする

ファクス送信に必要な設定をします。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 「送信」タブをクリックし、送信に関する設定をする

① ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号がある場合に入力します。この番号は、PBX やビジネスホンへ接続した環境で必要になる場合があります。本製品を単独で電話回線に接続する場合、入力は必要ありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合に、チェックします。

③ 送信操作画面

「シンプルスタイル」か「ファクススタイル」のどちらかを選びます。

- シンプルスタイル

- ファクススタイル

3 **［OK］をクリックする**

送信設定が保存されます。

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号を PC-FAX アドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

> 「Brother PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。
> ⇒ 56 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」

1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］を選ぶ**

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 **［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする**

① 使用するアドレス帳

送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。

通常は「Brother PC-FAX アドレス帳」を選びますが、Windows® メールや Outlook®、Outlook® Express のアドレス帳を利用する場合は、「Windows メールアドレス帳」、「Outlook アドレス帳」、または「Outlook Express アドレス帳」を選びます。

② アドレス帳ファイル

ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてアドレス帳ファイルを選びます。

> Microsoft® Outlook® 2000/2002/2003/2007 に対応しています。
>
> Outlook® のアドレス帳を使用するには、Outlook® が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

3 **［OK］をクリックする**

PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

パソコンからファクスを送る

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定（⇒ 52 ページ「送信の設定をする」）で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

注意

■ PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

ファクススタイルでファクスを送る

送信の設定（⇒ 52 ページ「送信の設定をする」）で送信操作画面を「ファクススタイル」に設定しているときは次の手順で送信します。

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX v.X」を選び、［OK］をクリックする

ファクス送信画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力する

ファクス番号は次の方法で入力できます。

- ダイヤルパッドをクリックする
- ワンタッチダイヤルボタンをクリックする
- ［アドレス帳］をクリックし、アドレス帳から選ぶ
- ［再ダイヤル］をクリックし、最近送った送付先から選ぶ

- 「ワンタッチダイヤルボタン」や「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。
  ⇒ 56 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- ファクス番号を間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。
- ［再ダイヤル］をクリックすると、最近送った相手先が、新しい順に 5 件表示されます。
- 送付書を付ける場合は、送付書使用ボタンをクリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。
  送付書を編集・作成する手順について
  ⇒ 62 ページ「送付書を作成する」
- Windows® メールや Outlook®、Outlook® Express のアドレス帳のデータを使用することもできます。
  ⇒ 53 ページ「アドレス帳を設定する」

5 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは

(1)　［中止］をクリックする
　◆ 送信が中止されます。

シンプルスタイルでファクスを送る

送信の設定（⇒ 52 ページ「送信の設定をする」）で送信操作画面を「シンプルスタイル」に設定しているときは次の手順で送信します。

注意

■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

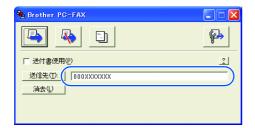
2 アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX v.X」を選び、［OK］をクリックする

ファクス送信画面が表示されます。

4 ［送信先］にファクス番号を入力する

ファクス番号は次の方法で入力できます。

- キーボードから番号を入力する
- ［送信先］をクリックし、アドレス帳から選ぶ

「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。

⇒ 56 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」

ファクス番号を間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。

送付書を付ける場合は、「送付書使用」を ON にします。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。

送付書を編集・作成する手順について

⇒ 62 ページ「送付書を作成する」

Windows® メールや Outlook®、Outlook® Express のアドレス帳のデータを使用することもできます。

⇒ 53 ページ「アドレス帳を設定する」

5 をクリックする

ファクスが送信されます。

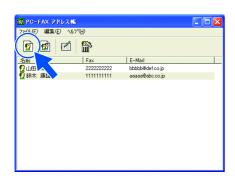
PC-FAX アドレス帳を利用する

PC-FAX を使うときは、PC-FAX アドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PC-FAX アドレス帳データは、CSV 形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

PC-FAX アドレス帳に相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に送信先を登録します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 をクリックする

相手先を登録する画面が表示されます。

3 相手先の情報を入力する

「名前」は必ず入力します。

4 ［決定］をクリックする

相手先の情報がPC-FAXアドレス帳に保存されます。

PC-FAX アドレス帳の登録情報を修正する

修正したい相手先をクリックし、をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

PC-FAX アドレス帳の登録情報を削除する

(1) 削除したい相手先をクリックし、をクリックする

◆ 削除を確認するメッセージが表示されます。

(2) ［OK］をクリックする

◆ 相手先が削除されます。

グループダイヤルに相手先を登録する

同じ内容のファクスを複数の相手先に何度も送信するときは、相手先を「グループ」として登録しておくと便利です。送信先として「グループ」を指定することで、一度の操作でグループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 をクリックする

グループを登録する画面が表示されます。

3 グループ名を入力する

4 「選択可能メンバー」に表示されている相手先から、グループとして設定したい相手先を選び、［追加］をクリックする

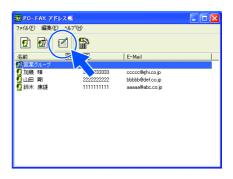
グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。

選んだ相手先がグループのメンバーとして「選択済みメンバー」に表示されます。

5 ［決定］をクリックする

グループの設定がPC-FAXアドレス帳に登録されます。

グループの登録情報を修正する

情報を修正したいグループをクリックし、をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

グループの登録情報を削除する

(1) 削除したいグループをクリックし、をクリックする

◆ 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

(2) ［OK］をクリックする

◆ グループの設定が削除されます。（グループに登録されている個々の相手先の情報は削除されません。）

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に登録した相手先やグループは、「ワンタッチダイヤル」として 10 件まで登録できます。よく使う相手先などを登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に指定できます。

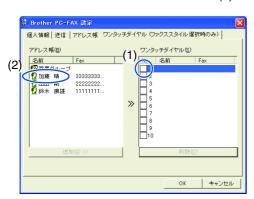
1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］を選ぶ

PC-FAX を設定する画面が表示されます。

2 ［ワンタッチダイヤル］タブをクリックする

ワンタッチダイヤルを登録する画面が表示されます。

3 「ワンタッチダイヤル」の登録したいダイヤル番号をクリックする

ワンタッチダイヤルの番号をクリックし (1)、アドレス帳から登録する名前をクリックして (2) 選びます。

4 ［追加］をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順 3、4 の操作を繰り返します。

5 ［OK］をクリックする

アドレス帳変更に関する注意画面が表示されたら、内容を確認して［OK］をクリックします。

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

ワンタッチダイヤルの設定を削除する

(1) 「ワンタッチダイヤル」に登録されている相手先をクリックする

(2) ［削除］をクリックする

アドレス帳をエクスポートする

PC-FAX で設定したアドレス帳は、CSV 形式のファイル、vCard 形式のファイル、またはリモートセットアップで使用できるファイルとしてエクスポートすることができます。

> 「vCard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「vCard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

CSV 形式のファイルでエクスポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 ［ファイル］メニューから、［エクスポート］－［テキストファイル］を選ぶ

項目を選択する画面が表示されます。

3 エクスポートしたい項目を選び、［追加］をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

4 「区切り文字」を選ぶ

エクスポートされた項目の間が、「タブ」または「コンマ」のどちらで区切られるかを選びます。

5 ［決定］をクリックする

6 ファイル名を入力し、［保存］をクリックする

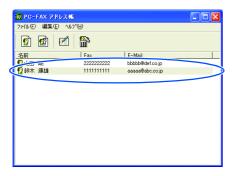
PC-FAX アドレス帳のデータが CSV 形式で保存されます。

vCard（vcf 形式）またはリモートセットアップのファイルとしてエクスポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 エクスポートしたい相手先をクリックする

リモートセットアップファイルとしてエクスポートする場合は、すべての相手先がエクスポートされるので、この操作は不要です。

3 メニューを選ぶ

- vCard 形式でエクスポートする場合
  ［ファイル］－［エクスポート］－［Vcard］を選びます。
- リモートセットアップファイルとしてエクスポートする場合
  ［ファイル］－［エクスポート］－［リモートセットアップダイアルデータ］を選びます。

4 ファイル名を入力し、［保存］をクリックする

- vCard 形式でエクスポートする場合
  エクスポートしたい相手先について、手順 2 から 4 を繰り返します。

PC-FAX アドレス帳のデータが vcf 形式またはリモートセットアップファイルとして保存されます。

アドレス帳をインポートする

PC-FAX で設定するアドレス帳は、CSV 形式のファイル、vCard 形式のファイル、またはリモートセットアップのデータをインポートすることができます。

CSV 形式のファイルをインポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 ［ファイル］メニューから、［インポート］－［テキストファイル］を選ぶ

項目を選択する画面が表示されます。

3 インポートしたい項目を選び、［追加］をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

4 「区切り文字」を選ぶ

インポートしたいファイルで使用されている区切り文字を、「タブ」または「コンマ」から選びます。

5 ［決定］をクリックする

6 ファイルを選び、［開く］をクリックする

選んだ CSV 形式のデータが PC-FAX アドレス帳に追加されます。

vCard（vcf 形式）またはリモートセットアップ形式のファイルをインポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 ［ファイル］メニューから、［インポート］－［Vcard］または［リモートセットアップダイアルデータ］を選ぶ

3 ファイルを選び、［開く］をクリックする

選んだデータがPC-FAXアドレス帳に追加されます。

送付書を作成する

PC-FAX では、ファクスを送信するときに「送付書」を添付できます。

ファクス送信画面で、［送付書マーク］をクリックする

・ファクススタイル

・シンプルスタイル

送付書を設定する画面が表示されます。

2 送付書の情報を入力する

① **送信先**

送信先の情報を入力します。相手先がグループのときは、送付書には印刷されません。アドレス帳から送信先を選んだ場合は、自動的に引用されます。

② **送信元**

送信元の情報を入力します。「個人情報」（⇒ 52 ページ「個人情報を登録する」）が設定されているときは自動的に引用されます。

③ **コメント**

送付書に追加するコメントを入力します。

④ **フォーム**

送付書のスタイルを選びます。

⑤ **送付書をページ数に加える**

チェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

パソコンでファクスを受信する

受信したファクスメッセージを画像データとしてパソコンに保存します。

注意

■ ファクスを受信したとき、パソコンの電源が入っていなかったり、パソコンとつながっていなかったときは、本製品に受信データを記憶させておくことができます。
■ PC-FAX 受信は、モノクロのみ対応しています。（カラーファクスを受信すると、データはパソコンに転送されず本製品で印刷されます。）
■ ネットワーク環境で Windows® XP Service Pack 2、Windows Vista® または Windows® 7 をお使いの場合、PC-FAX 受信を起動すると Windows® セキュリティの警告が表示されることがあります。その場合は「ブロックを解除する」を選んでください。

■ PC-FAX 受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。

本製品を PC-FAX 受信モードにする

液晶ディスプレイモデルの場合

1 本製品のメニューから、【メモリー受信】を選ぶ

(1) メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス / 電話】（MFC-675CD/675CDW/695CDN/695CDWN）、【ファクス】（MFC-495CN）を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【受信設定】を選び、OK を押す

(3) ▲/▼ で【メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【PC ファクス受信】を選び、OK を押す

3 メッセージを確認して、OK を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。
⇒ 64 ページ「PC-FAX 受信を起動する」

4 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から ▲/▼ で選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB > を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

注意

■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

5 OK を押す

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 9 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合⇒手順 8 へ

「みるだけ受信」の設定・解除については、ユーザーズガイド　基本編をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」

6 ▲/▼ で本製品で印刷するかしないかを選び、OK を押す

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

7 停止 / 終了 を押す

PC-FAX 受信をするパソコンを変更する場合は、手順 4 で【変更する】を選び、OK を押したあと、受信先のパソコンを選んでください。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【PC ファクス受信】を押す

6 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。

⇒ 64 ページ「PC-FAX 受信を起動する」

7 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB > を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

注意

■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

8 OK を押す

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 10 へ

「みるだけ受信」が設定されていない場合⇒手順 9 へ

「みるだけ受信」の設定・解除については、ユーザーズガイド　基本編をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」

9 本製品で印刷するかしないかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

10 停止/終了 を押す

PC-FAX 受信をするパソコンを変更する場合は、手順 7 で受信先のパソコンを選び直してください。

PC-FAX 受信を起動する

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 受信］－［PC-FAX 受信を起動］を選ぶ

PC-FAX 受信ダイアログが表示されます。内容を確認して、［OK］をクリックしてください。

タスクトレイに PC-FAX のアイコンが表示されます。

受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC-FAX 受信アイコン を右クリックして「受信設定」を選びます。

設定できる内容は次のとおりです。

- **ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす**
  着信音を鳴らすときはチェックボックスにチェックを入れ、着信音にする Wave ファイルも指定します。
- **スタートアップに登録する**
  パソコンを起動したときに自動的に PC-FAX 受信も起動するときはチェックボックスにチェックを入れます。
- **起動時に本体設定の確認警告を表示する**
  PC-FAX 受信を起動したときに、本体設定の確認警告画面を表示します。表示させたくない場合は、チェックボックスのチェックを外します。
- **ネットワーク設定**（USB 接続の場合は表示されません）
  ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IP アドレスやノード名などの設定が行えます。
  ⇒ 65 ページ「PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する」

PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する

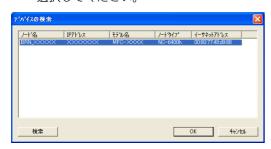
インストール時に設定された本製品を変更するときは、次の手順に従ってください。

1 タスクトレイの PC-FAX 受信アイコン を右クリックし、「受信設定」を選ぶ

2 [ネットワーク設定] をクリックする

3 本製品の IP アドレスまたはノード名を指定する

IP アドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で指定してください。

- IP アドレスで本製品を指定
  「IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力してください。
- ノード名で本製品を指定
  「IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力するか、[検索] をクリックして、一覧から本製品を選択してください。

- 表示用 PC 名登録
  本製品の画面に表示されるパソコンの名前を設定できます。「表示用 PC 名登録」に入力してください。

受信したときは

ファクスの受信を開始すると、タスクトレイの PC-FAX アイコンが と に点滅します。ファクス受信が終了すると、アイコンが に変わります。

1 をダブルクリックする

「Presto! PageManager」が起動します。
受信したデータが保存されている「Faxes」フォルダーが自動的に表示されます。

2 ファイル名をダブルクリックして内容を確認する

受信したファクスを一度確認すると、アイコンが に戻ります。

未読のファクスには、受信した日時のファイル名が付けられています。
例） Fax 5-20-2008 16:40:21.tif

第 4 章 フォトメディアキャプチャ

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

使用できるメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー

本製品では、次のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用できます。

コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 16GB）

メモリースティック TM（最大 128MB）
メモリースティック PRO TM（最大 16GB）

xD-Picture Card TM
（最大 512MB）
xD-Picture Card TM TypeM/TypeM+/TypeH
（最大 2GB）

SD メモリーカード
（最大 2GB）
SDHC メモリーカード
（最大 16GB）

USB フラッシュメモリー（最大 32GB）
（MFC-675CD/675CDW は対応していません。）

※ メモリースティック デュオ TM、メモリースティック PRO デュオ TM、メモリースティック マイクロ TM (M2 TM) も使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※ miniSD カード /microSD カードも使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※ 著作権保護機能には対応していません。

注意

■ スマートメディア、マイクロドライブ、マルチメディアカード TM には対応していません。

本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、本製品の正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

① USB フラッシュメモリー
（MFC-675CD/675CDW は対応していません。）
② コンパクトフラッシュ®
③ SD メモリーカード、SDHC メモリーカード
④ メモリースティック TM、メモリースティック PRO TM
⑤ xD-Picture Card TM、xD-Picture Card TM TypeM/TypeM+/TypeH

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに USB 接続したパソコンからアクセスし、「リムーバブルディスク」として使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

デジカメプリント が点灯します。

2 ［マイコンピュータ］の［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。

3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

また、パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みも行えます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

- この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ネットワーク経由で他のパソコンがメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
- メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存された写真を本製品の画面に表示しているとき、および保存されたデータをプリントしているときは、パソコンからはアクセスできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

デジカメプリント が点灯します。

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ControlCenter3］を選ぶ

タスクトレイに が表示されます。

3 タスクトレイの を右クリックして、［開く］を選ぶ

ControlCenter3 のウィンドウが表示されます。

4 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」－「メディアを開く」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容がリスト表示されます。

> ウェブブラウザーを起動し、アドレス欄に「ftp://(本製品の IP アドレス)」を入力してもアクセスできます。

5 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

また、パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みも行えます。

> ネットワーク経由でメモリーカードや USB フラッシュメモリー内のファイルを扱う場合は、ファイル名を半角英数字にしてください。漢字・ひらがな・カタカナなどのファイル名は文字化けします。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す（USB 接続のみ）

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、次の手順で取り出します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照している Windows® のエクスプローラーなどをすべて閉じる

2 ［マイコンピュータ］の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックする

3 ［取り出し］を選ぶ

本製品の（デジカメプリント）が点滅することがあります。（点滅しなくても異常ではありません。）

4 本製品の（デジカメプリント）が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く

注意

- 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるとき（（デジカメプリント）点滅中）は、電源プラグや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが損傷を受けることがあります。
- 誤って（デジカメプリント）が点滅中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、パソコンをすぐに再起動したあと、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。パソコンを再起動する前に他のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。

第 5 章 リモートセットアップ（MFC モデルのみ）

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、パソコンから簡単に行うことができます。
リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

- DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。
- PC-FAX 受信をご利用の間はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX 受信を終了させてから操作してください。

本製品の設定をパソコンから変更する

リモートセットアップを使って本製品の設定を変更するときは、次の手順で操作します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［リモートセットアップ］を選ぶ

注意

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A) から設定したい項目を選び、右側（B) の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。

3 設定し終わったら、［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

- リモートセットアップは、ControlCenter3 からも実行できます。
- ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージ画面の［検索］をクリックして、表示される機器の一覧から使用する機器を選び、再度設定してください。

その他の操作について

リモートセットアップでは、設定内容をファイルとして保存したり、印刷することができます。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「電話帳登録」画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックしてください。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

本製品の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。パソコンのキーボードを使用して名前などを入力できるので、本製品の操作パネルやタッチパネルから入力する場合に比べて、簡単です。

> 本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号 00 ～ 99（最大 100 件× 2 番号）に登録します。

1 リモートセットアップ画面の左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」に相手先の名前を入力する

全角で入力してください。10文字まで入力できます。

3 「ヨミガナ」に相手先名称の読みがなを入力する

半角カタカナで入力してください。16 文字まで入力できます。

4 「種別」が［F/T］になっていることを確認する

［F/T］になっていない場合は、ダブルクリックして［F/T］を選んでください。

5 「FAX/TEL 番号」に電話またはファクス番号を入力する

電話、ファクス番号は、1 つの短縮番号に 2 つまで登録できます。

6 必要に応じて「着信」、「着信音」をそれぞれ選択する

着信は、【ファクス／迷惑指定／電話】から選びます。【電話】を選んだ場合は、「着信音」のポップアップメニューからメロディを選びます。

- 【ファクス】
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【迷惑指定】
  着信音が鳴りません。
- 【電話】
  親機の着信音が鳴ります。

> 着信鳴り分け設定（「着信」、「着信音」）は、ナンバー・ディスプレイサービスを電話会社と契約し、本製品のナンバーディスプレイ設定を【あり】に設定しているときのみ、有効です。
> ⇒ユーザーズガイド　基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
>
> 子機の着信音はリモートセットアップ画面では設定できません。子機側で着信音を設定してください。

7 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を 1 つのグループとして登録しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

- 1 つのグループダイヤルに登録できる件数は、数に制限はありません。
- グループダイヤルも 1 件として短縮ダイヤルに登録されます。短縮ダイヤルに空きがなければ登録できません。

1 リモートセットアップ画面の左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」にグループ名を入力する

全角で入力してください。10文字まで入力できます。

3 「ヨミガナ」にグループ名の読みがなを入力する

半角カタカナで入力してください。16 文字まで入力できます。

4 「種別」の［F/T］をダブルクリックして、グループ番号を選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは「グループ 2」を選びます。

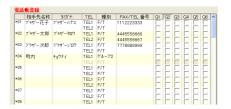
5 グループに登録する相手先のグループ番号のチェックボックスにチェックを入れる

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」にチェックを入れます。

6 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

［OK］をクリックしてもエラー画面が表示される場合、エラー内容をよくお読みになり、画面の指示に従ってください。次のような場合にもエラーが表示されます。

・相手先のグループ番号に 1 つもチェックが入っていない。

・グループの行にチェックが入っている。

・相手先の「FAX/TEL 番号」が入力されていない行のグループ番号にチェックが入っている。
・使用できない文字が入力されている。
・入力文字制限数を超えて入力されている。

第 6 章 RSS 設定（MFC-J950DN/J950DWN のみ）

RSS 機能とは

RSS 機能とは、インターネット上のウェブサイト、特にニュースやブログなどから発信されるコンテンツの概要などを本製品の画面上に表示することができる機能です。指定された更新間隔で自動的に新しい情報を取得して表示します。
気になる情報を本製品の画面上で選択すると、ネットワーク上にあるパソコンでコンテンツ配信元のウェブサイトを表示し、更に、詳しい情報を閲覧することもできます。
RSS を設定するには、本製品の RSS メニューから行う方法と、ネットワーク上のパソコンで「RSS 連携ユーティリティ」を使用して行う方法があります。本書では、パソコンで設定する方法を説明します。
本製品の RSS メニューから設定する方法については、「ユーザーズガイド 基本編」をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「第 8 章 RSS」

RSS に関するほとんどの設定は、「RSS 連携ユーティリティ」で行うことができますが、下記の項目については本製品の RSS メニューから設定を行ってください。
- RSS 最新情報の手動更新
- RSS 表示のスクロール速度変更
- RSS ステータスの確認
- ウェブサイトを閲覧するパソコンの選択および固定設定

注意

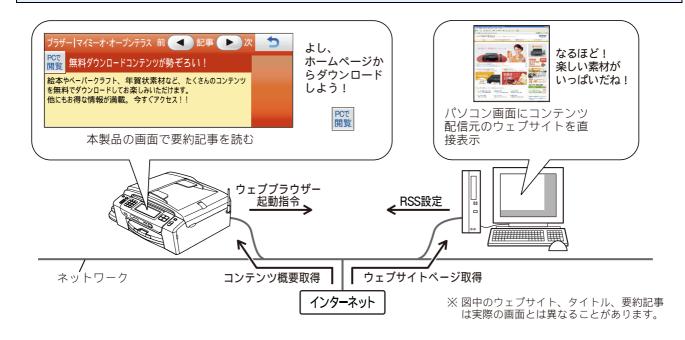
■ RSS 機能を使用するためには、インターネット接続サービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要です。また、プロバイダーとの契約が、従量課金制または定額従量課金制である場合は、RSS の接続時間に応じて（定額従量課金制の場合は決められた時間を越えた場合に）通信料が発生します。

■ インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、プロキシサーバーの情報を設定する必要があります。
⇒ 79 ページ「RSS 機能の設定をする」

■ RSS 機能は USB 接続では使用できません。必ず、有線または無線ネットワークに本製品とパソコンを接続してください。

■ 本製品で RSS のコンテンツを選んで PCで閲覧 を押すとパソコンでウェブサイトを表示しますが、これは本製品とパソコンをともにネットワークで接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動している場合にのみ可能です。
「RSS 連携ユーティリティ」のインストールについては、「かんたん設置ガイド」（ネットワーク編）をご覧ください。

■ Macintosh をお使いの方は、本製品の画面では RSS を表示できますが、PCで閲覧 で Macintosh にウェブサイトを表示させることはできません。また、本製品付属のソフトウェア「RSS 連携ユーティリティ」は Macintosh に対応していません。

※ 図中のウェブサイト、タイトル、要約記事は実際の画面とは異なることがあります。

RSS 関連用語

本書内で使われている RSS に関連する用語を紹介します。

- **RSS**

  ニュースやブログなど各種のウェブサイトの更新情報を簡単にまとめ、配信するための文書フォーマットの総称です。
  本製品で対応している RSS 形式は RSS1.0、RSS2.0、Atom1.0 です。

- **OPML**

  Outline Processor Markup Language の略。XML 形式によるアウトライン構造を記述するための規格です。ウェブブラウザーやフィードリーダーのブックマーク情報の保存目的で利用されるようになってきています。

- **フィード**

  ウェブサイトのコンテンツの概要を RSS/Atom などの文書形式で配信することです。

- **フィードリーダー**

  RSS/Atom などの文書形式で配信されたコンテンツの概要を閲覧するための専用ソフトのことです。

- **プロキシ**

  ユーザーのコンピューターとインターネットとの間に設置され、直接インターネットに接続できないユーザーのコンピューターに代わって「代理」としてインターネットとの接続を行うコンピューターのことです。

各種ウェブサイトにおけるRSS配信について

お客様がご覧になっているすべてのウェブサイトが RSS 配信を行っているわけではありません。各ウェブサイト上で、「RSS について」というような案内がないかを、また、RSS 配信を行っているウェブサイトでは下記のような表示をしていることも多いので、これらの表示なども探してみてください。本製品には、各ウェブサイト上で紹介されている RSS サイトの URL（形式例：http://**************.xml）を登録します。

RSS配信を行っていることを示すマークの例

RSS　XML

フィードアイコン（ ）の使用に関しては、Mozilla Foundationによって制定されたフィードアイコンガイドラインに準拠しています。

RSS 連携ユーティリティで RSS 機能の設定をする

RSS 連携ユーティリティを使用して、本製品の画面に表示させるウェブサイトや情報の更新などの RSS 機能の設定や変更を行います。

RSS 連携ユーティリティを起動する

RSS 連携ユーティリティをインストールしたあとは、パソコンを起動すると同時に RSS 連携ユーティリティも起動する設定になっています。起動している場合は、タスクトレイに が表示されています。
RSS 連携ユーティリティが起動していない場合は、次の手順に従って起動してください。

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名) LAN］－［RSS 連携ユーティリティ］を選ぶ

- ソフトウェアのインストールについては、「かんたん設置ガイド」（ネットワーク編）をご覧ください。
- ControlCenter3 の「設定」メニューから「RSS 連携ユーティリティ」を選んでも「RSS 連携ユーティリティ」を起動できます。

タスクトレイに が表示され、RSS 連携ユーティリティダイアログボックスが表示されます。

注意

■ 本製品の画面に表示されているコンテンツのより詳しい情報を、接続されているパソコンのウェブブラウザーにワンタッチで表示させて見たい場合は、「RSS 連携ユーティリティ」を起動してください。起動していないと、本製品の画面で PCで閲覧 がグレー表示され、選択できません。
⇒ 82 ページ「パソコンでウェブサイトを表示する」

はじめて RSS 連携ユーティリティを起動したときは

はじめて「RSS 連携ユーティリティ」が起動すると、RSS 機能の製品使用許諾契約確認画面が表示されます。使用許諾契約をよくお読みになり、同意される場合は［はい］をクリックします。

注意

■ 使用許諾契約に同意し、［はい］をクリックすると、RSS 連携ユーティリティを使用できます。RSS 機能をご使用になる場合、インターネットへの接続が必要となることがあり、プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生します。

起動時の動作を設定する

タスクトレイの をクリックし、［PC 起動時に起動する］を選ぶと、パソコンを起動したとき、「RSS 連携ユーティリティ」が同時に起動します。

◆ 起動時は、タスクトレイに が表示されます。RSS 連携ユーティリティダイアログボックスは表示されません。

RSS 機能の設定をする

RSS 連携ユーティリティダイアログボックスでは、次のような RSS 機能の設定や変更が行えます。

① 登録サイト

RSSを本製品の画面に表示させるために登録したRSSサイトのタイトルを一覧で表示します。登録されていない箇所は「未登録」と表示されます。登録サイトは最大 8 箇所まで設定できます。

> お買い上げ時は、弊社サイト「マイミーオ・オープンテラス」が登録されています。

② RSS サイト設定

本製品の画面に表示させる RSS サイトの URL の登録、変更および削除ができます。

⇒ 80 ページ「RSS サイトを設定する」

③ RSS 機能

登録した RSS サイトから発信されるコンテンツの概要を本製品の画面上に表示させるかどうかを設定します。「オン」にすると本製品に RSS が表示されます。

注意

- RSS 機能を「オン」にすると本製品に RSS を表示させるため、インターネット使用に関する承諾許可の画面が表示されます。［OK］を押すと、インターネットに接続します。（「次回以降、このメッセージを表示しない。」にチェックを入れると、今後は承諾許可の画面が表示されず、「オン」にすると自動的にインターネットに接続します。）
- プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
⇒ 76 ページ「RSS 機能とは」

④ 更新間隔

インターネットに接続してコンテンツの最新情報を取得しにいく間隔を設定します。「2 時間」、「3 時間」、「6 時間」、「12 時間」、「24 時間」から選択します。登録されているすべてのサイトの情報を更新します。

⑤ プロキシ設定

インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、プロキシ設定を行います。クリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

(A) プロキシサーバーを使用する

チェックを入れると、プロキシサーバー経由でインターネットへ接続します。

(B) アドレス、ポート

プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力します。（D）の［Windows の設定値を取得する］をクリックして、パソコンに設定されている情報を自動的に取得し、表示させることもできます。

(C) ユーザ名、パスワード

プロキシ使用時にユーザー認証やパスワードが必要な場合は、入力します。

> ユーザー認証が不明の場合は、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

(D) Windows の設定値を取得する

クリックすると、パソコンの「インターネットオプション」に設定されているプロキシ情報を自動的に取得して、（B）の「アドレス」と「ポート」欄に表示します。

⑥［OK］ボタン

本製品に設定を反映して、ダイアログボックスを閉じます。

⑦［適用］ボタン

ダイアログボックスは閉じずに、本製品に設定を反映します。

RSS サイトを設定する

RSS 連携ユーティリティダイアログボックスの［RSS サイト設定］をクリックすると、RSS サイト設定ダイアログボックスが表示されます。この画面で本製品の画面に表示させる RSS サイトの登録や削除を行います。

RSS サイト設定画面

① 登録サイト

RSSを本製品の画面に表示させるために登録したRSSサイトのタイトルと URL を一覧で表示します。登録されていない箇所は「未登録」と表示されます。登録サイトは最大 8 箇所まで設定できます。

② 登録サイトの編集

すでに登録済みの RSS サイトのタイトルや URL を変更することができます。登録サイト一覧から RSS サイトを選択して、［登録サイトの編集］をクリックします。「登録サイトの編集」画面に選択した RSS サイトのタイトルと URL が表示されます。

(A) タイトル

①の登録サイト一覧および本製品の RSS 画面上に表示される RSS サイトのタイトルです。最大 20 文字まで入力できます。または、［タイトルを取得する］をクリックすると、RSS サイトのタイトルを自動的に取得して、「タイトル」欄に表示します。

(B) URL

①の登録サイト一覧に表示される RSS サイトの URL です。本製品の RSS メニューでもこの URL を確認できます。

注意

■ URL を入力する際には下記の点にご注意ください。
- 「http://」で始まる URL を入力してください。
- 「http://」を含めて最大 160 文字まで入力できます。
- 国際化ドメイン名（日本語など）には対応していません。

RSS サイトを新規で登録する方法については、次の「RSS サイトの登録」（81 ページ）をご覧ください。

③ リストから選択

お買い上げ時に表示されているリストまたは、OPMLファイルからから読み込んだリスト一覧を表示します。

④ 1 つ上に /1 つ下に

①の登録サイト一覧の順番を変更するときに使用します。移動したい RSS サイトを選択し、［1 つ上に］または［1 つ下に］をクリックします。

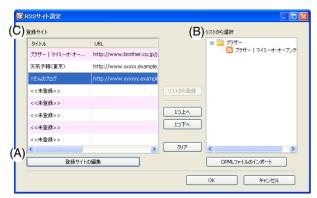
本製品の RSS 画面には、登録サイト一覧の順番でコンテンツの概要が表示されます。

⑤ クリア

登録されている RSS サイトを選択して、［クリア］をクリックします。RSS サイトが削除されます。

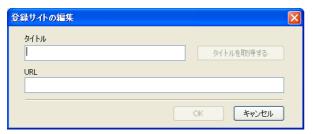
⑥ OPML ファイルのインポート

フィード一覧ファイル（OPML 形式）を読み込んで「リストから選択」に表示させることができます。

RSS サイトの登録

RSS サイトを登録する方法は、次の 3 とおりあります。

(A) 手動入力で登録する

① 登録サイト一覧の「未登録」欄を選択して［登録サイトの編集］をクリックする

「登録サイトの編集」画面が表示されます。

② RSS 配信に対応したウェブサイトの URL を「URL」欄に入力する

注意

■ URL を入力する際には下記の点にご注意ください。
- 「http://」で始まる URL を入力してください。
- 「http://」を含めて最大 160 文字まで入力できます。
- 国際化ドメイン名（日本語など）には対応していません。

③［タイトルを取得する］をクリックする

URL に表示されている RSS サイトのタイトルを自動的に取得して、「タイトル」欄に表示します。お好みのタイトルを手動で入力することもできます。最大 20 文字まで入力できます。

④［OK］を押す

「登録サイト」に登録されます。

(B) リストから選択して登録する

①［OPML ファイルのインポート］をクリックする

② 他の RSS リーダーで生成されたフィード一覧ファイル（OPML 形式）を選択する

「リストから選択」にフィード一覧が表示されます。

③ 登録サイト一覧の「未登録」欄を選択する

④「リストから選択」に表示された項目から登録したいサイトを選択して、［リストから登録］をクリックする

「登録サイト」に登録されます。

(C) RSS 配信マークをドラッグ＆ドロップして登録する

① RSS配信に対応しているウェブサイトのRSS配信マーク（、RSS、XMLなど）を登録サイト一覧の「未登録」欄へドラッグ＆ドロップする

「登録サイトの編集」画面が表示されます。ドラッグ＆ドロップした URL が自動的に表示されます。

②［タイトルを取得する］をクリックする

URL に表示されている RSS サイトのタイトルを自動的に取得して、「タイトル」欄に表示します。お好みのタイトルを手動で入力することもできます。最大 20 文字まで入力できます。

③［OK］を押す

「登録サイト」に登録されます。

> お使いのウェブブラウザーによっては、RSS 配信マークをドラッグ＆ドロップしても URL が表示されず、サイトを登録できない場合があります。その場合は、他の方法で登録してください。

パソコンでウェブサイトを表示する

本製品の RSS 表示で気になる要約記事を選択すると、ネットワーク上にあるパソコンで RSS 配信元のウェブサイトを表示させてより詳しい内容を閲覧することができます。

注意

- 本製品の画面で選択したコンテンツをパソコンのウェブブラウザーで表示させる場合は、ネットワーク上のパソコンで必ず「RSS 連携ユーティリティ」を起動させてください。
⇒ 78 ページ「RSS 連携ユーティリティを起動する」
- RSS 配信元のウェブサイトをパソコンで表示させる場合、プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
⇒ 76 ページ「RSS 機能とは」

1 本製品の画面に表示されているコンテンツ画面で PCで閲覧 を押す

本製品の画面最上部に表示されているRSSを選択していくと、次のような画面が表示されます。コンテンツの選択方法については、「ユーザーズガイド 基本編」をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「RSS コンテンツを表示する」

現在ウェブサイトを表示させることのできるパソコンの一覧が本製品の画面に表示されます。

注意

- ウェブサイトをパソコンで閲覧するときは、下記すべての条件が整っていることを確認してください。条件が整っていない場合、本製品の PCで閲覧 がグレー表示となり、パソコンに情報を送れません。
  - パソコンはネットワーク接続されている（どこかで切断されていないか）
  - パソコンの電源が入っている
  - パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」が起動している

  すべての条件が整っていても PCで閲覧 がグレー表示となる場合は、「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」（83 ページ）をご覧ください。
- PCで閲覧 は Macintosh には対応していません。
- ウェブサイトの URL が取得できない場合や、URL が 256 文字以上の場合は、本製品の PCで閲覧 がグレー表示となり、パソコンに情報を送れません。

2 本製品の画面に表示されているパソコン一覧からウェブサイトを閲覧するパソコンを選択して、OK を押す

パソコンの画面に「RSS 連携ユーティリティ表示確認」ダイアログが表示されます。

あらかじめ閲覧するパソコンを設定しておくと、ここでパソコンを選択する手順を省略することができます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「閲覧するパソコンを設定する」

注意

- パソコン一覧に目的のパソコンが表示されない場合は、「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」（83 ページ）をご覧ください。

3 パソコン上のダイアログボックスの［OK］をクリックする

接続されたパソコンのウェブブラウザーが起動し、指定されたウェブサイトが表示されます。

下記のどちらかの操作を行うと、今後、このダイアログボックスは表示されず、すぐにウェブサイトが表示されます。

- 「次回以降、このダイアログを表示しない。」にチェックを入れる。
- タスクトレイの をクリックして表示されるメニューの［ウェブサイト表示時に確認する］のチェックを外す。

パソコンでウェブサイトを表示できないときは

下記のような場合は、ネットワークで接続されているパソコンが本製品で正しく認識されていないことが考えられます。

- 本製品とパソコンをともにネットワークで接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動していても、本製品の画面で PCで閲覧 がグレー表示になり、操作できない。
- パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動し、PCで閲覧 を押しても、本製品の画面に表示されるパソコン一覧に目的のパソコンが表示されない。

パソコンで次の操作を行ってください

(1) **タスクトレイの をクリックして、表示されるメニューから［設定］－［(目的のデバイス)］を選択する**

(2) **「RSS 連携ユーティリティ」ダイアログボックスで［検索］をクリックする**

(3) **「デバイスの検索」ダイアログボックスで本製品を選び、［OK］をクリックする**

(4) **「RSS 連携ユーティリティ」ダイアログボックスが表示されたら［OK］をクリックする**

第 7 章 便利な使い方（ControlCenter3）

ControlCenter3 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナー、PC-FAX、フォトメディアキャプチャなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter3 の画面

ControlCenter3 には、「Modern」と「Classic」の 2 種類のウィンドウデザインが用意されています。どちらも使用できる機能は同じです。

- Modern 画面

- Classic 画面

(1) モデル	ControlCenter3 を使用するモデルを選択できます。
(2) 設定	各機能の詳細設定画面を表示したり、「RSS 連携ユーティリティ」（MFC-J950DN/J950DWN のみ）や ContorlCenter のヘルプ、またはブラザーソリューションセンターを起動して表示します。
(3) スキャン	使用目的に応じて、原稿をスキャンします。クリックするだけで、画像データとして保存したり、E メールにデータを添付することができます。 ⇒ 87 ページ「スキャン」
(4) カスタム	スキャン時によく使用する設定やソフトウェアを登録できます。よく使う設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたスキャンを実行できます。 ⇒ 90 ページ「カスタム」
(5) フォトメディアキャプチャ	本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをパソコンから確認できます。 ⇒ 92 ページ「フォトメディアキャプチャ」
(6) コピー	原稿をコピーします。コピーするときの設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたコピーを実行できます。 ⇒ 96 ページ「コピー」
(7) PC-FAX	スキャンしたデータを本製品を使用してファクスとして送信します。受信したファクスを確認することもできます。⇒ 98 ページ「PC-FAX」 ※ DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
(8) デバイス設定	本製品のインク残量の確認や、電話帳の登録などが行えます。 ⇒ 100 ページ「デバイス設定」

Modern 画面を使用するには、お使いのパソコンに Adobe® Flash® Player8.0 以上がインストールされている必要があります。

ControlCenter3 を起動する

インストール直後は、パソコンを起動したときに、ControlCenter3 も起動する設定になっています。

（タスクトレイに が表示されています。）

タスクトレイに が表示されていないときは、次の手順で ControlCenter3 を起動してください。

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ControlCenter3］を選ぶ

タスクトレイに が表示されます。

2 ControlCenter3 の画面を表示させるときは、タスクトレイの を右クリックして、［開く］を選ぶ

ControlCenter3 のウィンドウが表示されます。

起動時の動作を設定する

パソコンを起動したとき、ControlCenter3 も同時に起動させることができます。

(1)　タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選ぶ

◆「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

(2)　起動時の動作を選ぶ

- パソコン起動時に起動する
  パソコン起動時にControlCenter3が自動的に起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く
  ControlCenter3起動時にControlCenter3のメインウィンドウが自動的に起動します。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3)　［OK］をクリックする

ControlCenter3 のウィンドウデザインを変更する

ウィンドウデザインは、「Modern」と「Classic」の 2 種類からを選択できます。

1 ［設定］をクリックして、［ControlCenter の設定］－［使用するスキンの選択］を選ぶ

ウィンドウデザインの選択ダイアログボックスが表示されます。

2 「Modern」または「Classic」を選び、［OK］をクリックする

ControlCenter3 のウィンドウデザインが変更されます。

スキャン

使用する目的に応じて、原稿をスキャンします。本製品のスキャンボタンの設定も変更できます。

スキャンを実行する

ControlCenter3 からスキャンを実行します。

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「スキャン」をクリックする

• Modern の場合

• Classic の場合

3 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。

- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「E メール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されています。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。インストールの手順については「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。

スキャンの設定を変更する

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。
本製品のスキャンボタンからスキャンする場合の設定も、ここで変更できます。

1 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選ぶ

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

2 「ControlCenter の設定」タブまたは「本製品上のスキャンボタン設定」タブをクリックして、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。

⇒ 88 ページ「スキャンの設定」

本製品のスキャンボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本製品上のスキャンボタン設定」タブをクリックして、設定を変更します。

3 ［OK］をクリックする

設定が変更されます。

スキャンの設定

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。設定できる項目は、ボタンによって異なります。

● 主な設定項目

（代表で「スキャン TO イメージ」の画面を使用しています。）

① ControlCenter の設定タブ

ControlCenter3 からスキャンする場合の設定の確認や変更ができます。

② 本製品上のスキャンボタン設定タブ

本製品の操作パネルにあるスキャンボタンからスキャンする場合の設定の確認や変更ができます。

③ 使用するアプリケーション（「イメージ」、「OCR」）／使用する E メールアプリケーション（「E メール」）

スキャンした原稿を開くアプリケーション、またはスキャンした原稿を添付する E メールアプリケーションを選択します。④の「追加」をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

④ 追加（「ファイル」以外）

使用するアプリケーションまたは、E メールアプリケーションを追加できます。クリックすると次の画面が表示されます。

(A) アプリケーションの名前
アプリケーションの名前を入力します。（全角 15 文字、半角 30 文字まで入力できます。）

(B) アプリケーションの場所
追加したいアプリケーションのパスを入力します。
をクリックして指定することもできます。

(C) ファイル形式
ポップアップメニューからファイル形式を選択します。

⑤ 削除（「ファイル」以外）

クリックすると、④の「追加」で追加したアプリケーションを削除できます。

⑥ ファイル形式

スキャンするデータのファイル形式を選択します。

- スキャン TO イメージ /E メール / ファイルの場合
  - •Windows ビットマップ（.bmp）
  - •JPEG（.jpg）
  - •TIFF（.tif）
  - •TIFF マルチページ（.tif）
  - •Portable Network Graphics（.png）
  - •PDF（.pdf）
  - •パスワード付き PDF（.pdf）
  - •XML Paper Specification（.xps）（Windows Vista®、Windows® 7 のみ）

> TIFF、TIFF マルチページを選択した場合は、圧縮／非圧縮を設定してください。
>
> TIFF マルチページ、PDF、パスワード付き PDF、XML Paper Specification を選択すると、複数枚の原稿を 1 つのファイルとしてまとめて作成します。
>
> パスワード付き PDF を選択すると、PDF ファイルを開くときのパスワードが設定できます。
>
> XML Paper Specification 形式は、Windows Vista®、Windows® 7 のみ使用可能です。XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification 文書の印刷に適したプリンタードライバーです。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
> （http://solutions.brother.co.jp/）

- スキャン TO OCR の場合
  - •テキストファイル（.txt）
  - •リッチテキスト形式（.rtf）
  - •HTML ドキュメント（.htm）

⑦ PDF パスワードの設定（「OCR」以外）

⑥の「ファイル形式」でパスワード付き PDF を選択して をクリックすると、次の画面が表示されます。PDF ファイルを開くときのパスワードを設定できます。

「PDF を開くパスワード」と「PDF を開くパスワード（確認）」に同じパスワードを入力して、[OK] をクリックします。スキャンしたデータに自動的にパスワードが設定され、保存されます。

パスワードを変更したい場合は、 をクリックして新しいパスワードを設定してください。

⑧ ファイルサイズ（「OCR」以外）

⑥の「ファイル形式」で JPEG、PDF、パスワード付き PDF を選択すると、解像度は維持したまま、ファイルサイズを 5 段階で設定できます。

⑨ **プレビューを行う**

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3 からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑩ **解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト**

必要に応じて設定します。

⑪ **自動切り取り（おまかせ一括スキャン）**

チェックすると、原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして、ファイルを作成します。
⑥の「ファイル形式」で次の形式を選択している場合は、複数の原稿が 1 つのファイルとして作成されます。それ以外の場合は、個別のファイルとして作成されます。

・TIFF マルチページ

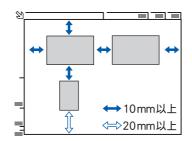
・PDF

・パスワード付き PDF

・XML Paper Specification

(1) 原稿台ガラスに原稿をセットする

次の点に注意して、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

- ADF から自動切り取り（おまかせ一括スキャン）はできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 原稿台ガラスの端から 10mm 以上（手前部分のみ 20mm 以上）空けてセットしてください。
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。
- 自動切り取りを選択した場合は、⑨の「プレビューを行う」、⑩の「原稿サイズ」を選択できません。

(2)ControlCenter3 の「イメージ」「**OCR**」「**E** メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

> 本製品で複数の原稿を一度にスキャンして、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。
> ⇒ 35、37 ページ「複数の原稿を一度にスキャンする （おまかせ一括スキャン）」
>
> 「自動切り取り」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

● **スキャン TO OCR のみで設定可能な項目**

① **OCR アプリケーション**

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCR ソフトウェア）を選択します。

② **OCR 言語**

変換する言語を選択します。

● **スキャン TO ファイルのみで設定可能な項目**

① **ファイル名**

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

② **スキャン毎に名前をつける**

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダーとデータの名前を設定することができます。

③ **保存先フォルダ**

スキャンしたデータを保存するフォルダーを設定します。

④ **保存先フォルダを開く**

チェックすると、スキャンしたあとに保存先のフォルダーを開きます。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

1 ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

- Modern の場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。

- Classic の場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

2 「カスタム 1」ボタンを右クリックして［ControlCenter のボタン設定］を選ぶ

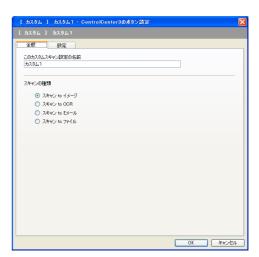
- Modern の場合

- Classic の場合

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

3 スキャンの名前と種類を設定する

「このカスタムスキャン設定の名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。

スキャンの種類は、「スキャン to イメージ」「スキャン to OCR」「スキャン to E メール」「スキャン to ファイル」から選びます。

4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

⇒ 88 ページ「スキャンの設定」

5 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタムスキャンを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

- Modern の場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。

- Classic の場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

3 実行するスキャンのボタンをクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

設定に従ってスキャンが実行されます。

フォトメディアキャプチャ

本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを確認したり、パソコンへコピーすることができます。

注意

■ ネットワーク接続の場合、フォルダー・ファイル名として使用できるのは、日本語・英数字・記号のみです。これら以外の文字を使用すると、フォルダーやファイル名が文字化けしたり、アクセスできないことがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容を表示します。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにどのようなデータが保存されているか確認できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 67 ページ「本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

デジカメプリント が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」－「メディアを開く」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータをパソコンにコピーする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを、パソコンの指定したフォルダーにコピーします。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 67 ページ「本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

デジカメプリント が点灯します。

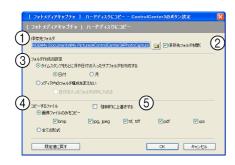
2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」－「ハードディスクにコピー」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、設定されたフォルダーにコピーされます。

「ハードディスクにコピー」の設定を変更する

「ハードディスクにコピー」ボタンを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、次の設定ができます。

① 保存先フォルダ

コピー先のフォルダーを指定します。
初期設定では、「X:My Documents¥My Pictures ¥ControlCenter3¥PhotoCapture」に設定されています（X はハードディスク）。

② 保存先フォルダを開く

チェックすると、コピーしたあとに保存先のフォルダーを表示します。

③ フォルダ作成の設定

コピーするときにフォルダーを作成するかしないかを選択します。

- **タイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する**
  保存先フォルダーの中に日付または月のフォルダーを作成し、その中にファイルをコピーします。
- **メディア内のフォルダ構成を変えない**
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダー構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダーにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダーを作成し、その中にファイルをコピーします。

④ コピーするファイル

コピーするファイルの種類を選択します。

⑤ 強制的に上書きする

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーのデータをビューアで開く

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを指定したフォルダーにコピーし、Presto! PageManager で開きます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 67 ページ「本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

デジカメプリント が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」－「ビューアで開く」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、「X:My Documents¥My Pictures¥ControlCenter3¥PhotoCapture」にコピーされます（X はハードディスク）。

コピーが終わると、Presto! PageManager が起動して、データが表示されます。

「「ハードディスクにコピー」の設定を変更する」（93 ページ）の③フォルダ作成の設定で「タイプスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する」にチェックが入っていると、月や日付の入ったフォルダが作成され、その中にデータがコピーされます。データを表示するにはフォルダをクリックします。

「ビューアで開く」の設定を変更する

「ビューアで開く」ボタンを右クリックして、[ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、次の設定ができます。

① **フォルダ作成の設定**

コピーするときにフォルダーを作成するかしないかを選択します。

- **タイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する**
  保存先フォルダーの中に日付または月のフォルダーを作成し、その中にファイルをコピーします。
- **メディア内のフォルダ構成を変えない**
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダー構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダーにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダーを作成し、その中にファイルをコピーします。

② **コピーするファイル**

コピーするファイルの種類を選択します。

③ **強制的に上書きする**

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを FaceFilter Studio で開く

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを指定したフォルダーにコピーし、FaceFilter Studio で開きます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 67 ページ「本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

デジカメプリント が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」－「FaceFilter Studio で開く」をクリックする

- Modern の場合

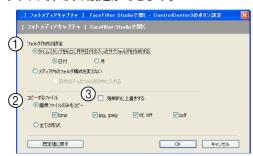
- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、「X:My Documents¥My Pictures¥ControlCenter3¥PhotoCapture」にコピーされます（X はハードディスク）。

コピーが終わると、FaceFilter Studio が起動して、データが表示されます。

「「ビューアで開く」の設定を変更する」（94 ページ）の①フォルダ作成の設定で「タイプスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する」にチェックが入っていると、月や日付の入ったフォルダが作成され、その中にデータがコピーされます。データを表示するにはフォルダをクリックします。

「FaceFilter Studio」の設定を変更する

「FaceFilter Studio で開く」ボタンを右クリックして、［ControlCenter3 のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、次の設定ができます。

① **フォルダ作成の設定**

コピーするときにフォルダーを作成するかしないかを選択します。

- **タイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する**
  保存先フォルダーの中に日付または月のフォルダーを作成し、その中にファイルをコピーします。
- **メディア内のフォルダ構成を変えない**
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダー構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダーにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダーを作成し、その中にファイルをコピーします。

② **コピーするファイル**

コピーするファイルの種類を選択します。

③ **強制的に上書きする**

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

1 ControlCenter3 の「コピー」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

2 「コピー 1」「コピー 2」「コピー 3」「コピー 4」のいずれかのボタンを右クリックして、[ControlCenter のボタン設定] を選ぶ

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

3 コピーの名前とサイズを設定する

「このコピー設定の名前」に、登録するコピー設定の名前を入力します。

「コピー設定」で、「100％」または「用紙サイズに合わせる」を選びます。

4 他の項目を必要に応じて設定する

解像度、色数、原稿サイズ、明るさ、コントラストが設定できます。

コピーの前にイメージを確認したり、コピーする範囲を指定したいときは、[プレビューを行う] をチェックします。

5 「使用するプリンタ」で本製品を選択する

6 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「コピー」をクリックして、実行するコピーのボタンをクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

設定に従ってコピーが実行されます。

PC-FAX

スキャンしたデータを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、パソコンで内容を確認することもできます。

注意

■ DCP モデルをお使いの場合、この機能は使用できません。

ファクスする

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「PC-FAX」－「PC-FAX 送信」をクリックする

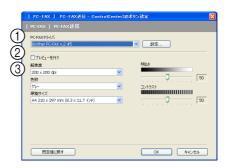
- Modern の場合

- Classic の場合

原稿がスキャンされ、PC-FAX 送信画面が表示されます。ファクス番号を入力して、送信を実行してください。

⇒ 54 ページ「パソコンからファクスを送る」

「PC-FAX 送信」の設定を変更する

「PC-FAX 送信」ボタンを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、次の設定ができます。

① PC-FAX ドライバ

送信する PC-FAX ドライバーを設定します。通常は、「Brother PC-FAX v.X」が選択されています。

② プレビューを行う

チェックすると、ファクスを送信する前に、内容を確認したり、ファクスとして送信する範囲を指定したりできます。

③ 解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト

必要に応じて設定します。

パソコンでファクスを受信する

PC-FAX 受信を起動を受信すると、ボタンが次のように変更されます。

Modern 画面	Classic 画面
受信したPC-FAXを見る	受信したPC-FAXを見る

1 ControlCenter3 の「PC-FAX」－「PC-FAX 受信を起動」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

2 「受信した PC-FAX を見る」をクリックする

「Presto! PageManager」が起動し、受信したファクスデータが保存されているフォルダーを表示します。

3 Presto! PageManager 上でファイル名をダブルクリックして内容を確認する

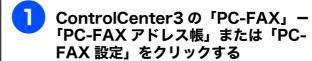
PC-FAX 受信を終了すると、ボタンが元に戻ります。

注意

■ ファクスをパソコンで受信するには、本製品での設定も必要です。
⇒ 63 ページ「本製品を PC-FAX 受信モードにする」

PC-FAX の設定を行う

ControlCenter3 から PC-FAX に関する設定が行えます。

1 ControlCenter3 の「PC-FAX」－「PC-FAX アドレス帳」または「PC-FAX 設定」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

- 「PC-FAX アドレス帳」をクリックした場合
  PC-FAX アドレス帳が起動します。アドレス帳に相手先を登録したり、登録内容を変更できます。
  ⇒ 56 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- 「PC-FAX 設定」をクリックした場合
  PC-FAX を送信するときの設定画面が表示されます。
  ⇒ 52 ページ「PC-FAX を使う前に」

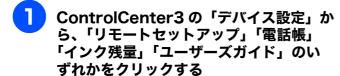
デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

注意

■ DCP モデルをお使いの場合は、「インク残量」と「ユーザーズガイド」ボタンのみ表示されます。

本製品の設定を確認・変更する

1 ControlCenter3 の「デバイス設定」から、「リモートセットアップ」「電話帳」「インク残量」「ユーザーズガイド」のいずれかをクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

- 「リモートセットアップ」をクリックした場合
  リモートセットアップ画面が表示されます。パソコン上で、本製品に関する機能を設定できます。
  ⇒ 71 ページ「本製品の設定をパソコンから変更する」
- 「電話帳」をクリックした場合
  リモートセットアップの電話帳設定画面が表示されます。パソコン上で、本製品の電話帳を編集できます。
  ⇒ 73 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」
- 「インク残量」をクリックした場合
  ステータスモニタが表示されます。
  ⇒ 12 ページ「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）」
- 「ユーザーズガイド」をクリックした場合
  「画面で見るマニュアル」が表示されます。

第８章 プリンター

プリンターとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をプリンターとして使用する場合、付属の CD-ROM に収録されているプリンタードライバーをインストールする必要があります。
Macintosh との接続や、ドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。

記録紙について

本製品をプリンターとして使う場合の記録紙については、ユーザーズガイド 基本編をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

印刷する

本製品をプリンターとして使うときは、あらかじめ「システム環境設定」の「プリントとファクス」または「プリンタ設定ユーティリティ」、または「プリントセンター」で「デフォルトプリンタに設定」と設定し、印刷します。

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選ぶ

3 各項目を設定し、［OK］をクリックする

次の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

ふちなし印刷を行う場合は、用紙サイズの中から（ふちなし）を選びます。

設定した内容が有効になります。

Mac OS X 10.5.x ～ 10.6.x の標準ウェブブラウザーなどでは、［ファイル］ －［プリント］を選択して表示される画面で用紙サイズを設定できます。

4 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

プリントダイアログが表示されます。

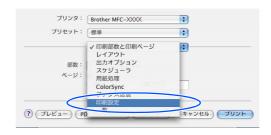
5 「プリンタ」に本製品のモデル名が表示されていることを確認する

その他、次の項目も設定できます。

- 部数
- ページ

6 印刷設定画面を表示する

(A)　Mac OS X 10.3.9 から 10.4.11 の場合

ポップアップメニューから［印刷設定］を選ぶ

印刷設定画面が表示されます。

(B)　Mac OS X 10.5.x から 10.6.x の場合

「プリンタ」の▼ボタンをクリックする

「テキストエディット」をクリックして表示されたポップアップメニューから［印刷設定］を選ぶ

印刷設定画面が表示されます。

7 必要に応じて、各項目を設定する

設定内容の詳細について

⇒ 105 ページ「印刷の設定を変更する」

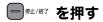
8 ［プリント］をクリックする

ファイルが印刷されます。

ファクスを送信中に印刷する

ファクスを送信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。画面に「データが残っています」と表示されている場合、残っているデータを消します。

を押す

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「印刷テストを行う」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

を押す

印刷がキャンセルされます。

印刷の設定を変更する

プリセットに選んだ設定を登録するときは、別名保存で［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは、［プリセット］から［標準］をクリックします。

「基本設定」タブの設定

① 用紙種類

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー BP71 写真光沢紙
ブラザー BP61 写真光沢紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面（通信面）

② 乾きにくい紙

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

③ 印刷品質

文書をどのような品質で印刷するかを選びます。選べる印刷品質は、①で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	内容	印刷速度
最高速	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く（「普通」の 2 ～ 3 倍の速度）、インクの消費量も少なくなります。	速い
高速	印刷速度を優先するとき ※「普通」の約 2 倍早く印刷できます。	
普通	通常の印刷のとき （品質と印刷時間のバランスがとれています。）	
きれい	「普通」より高画質で印刷するとき	
写真	写真のような精密なイメージを印刷するとき	
写真 （最高画質）	最高画質で印刷するとき （高解像度で印刷するので、印刷にかかる時間は長くなります。）	遅い

印刷品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

● 用紙種類と印刷品質の関連について

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は次のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

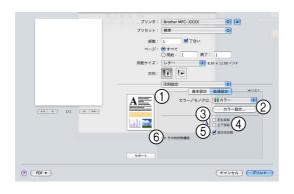
用紙の種類	印刷品質
普通紙	最高速 / 高速 / **普通** / きれい
インクジェット紙	きれい / **写真**
ブラザー BP71 写真光沢紙 / ブラザー BP61 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	きれい / **写真** / 写真（最高画質）
OHP フィルム	**普通** / きれい
写真用はがき 宛名面	最高速 / 高速 / 普通 / **きれい**

④ カラーモード

「ナチュラル」を選ぶと自然な色合いに、「鮮やか」を選ぶとよりはっきりした色合いになります。

⑤ サポート

クリックすると、サポート情報を参照できます。
⇒ 108 ページ「サポート情報の表示」

「拡張設定」タブの設定

① カラー／モノクロ

カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選びます。

② [カラー設定]

クリックすると、次の画面が表示されます。

[画質強調] をチェックすると、次の各設定を変更できます。

- 明るさ
  画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト（濃淡）
  画像のコントラスト（濃淡）を調整します。
- 赤・緑・青
  画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
  例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

③ 左右反転

チェックすると、左右に反転して印刷します。

④ 上下反転

チェックすると、上下に反転して印刷します。

（Mac OS X 10.6）③左右反転と④上下反転を使用する場合は、レイアウト画面を表示してください。③左右反転、④ページの方向を反転を選んで印刷します。

レイアウト
ページ数／枚：1
レイアウト方向：
境界線：なし
両面：切
④ ページの方向を反転
③ 左右反転
キャンセル　プリント

⑤ 双方向印刷

チェックするとプリントヘッドが両方向から印刷を行います。
チェックを外すと、片方向印刷になります。印刷速度は遅くなりますが印刷品質は向上します。

設定	内容
チェックなし	一方向から印刷します。 （印刷品質が良い）
チェックあり	双方向から印刷します。 （印刷速度が速い）

⑥ その他特殊機能

クリックすると、次のような画面が表示されます。（画面の一部を表示しています。）

(A) 用紙厚さ

用紙の厚さを選びます。用紙サイズによって、初期値が異なります。

(B) 印刷データ圧縮方法

画質や速度を優先したい場合に設定します。通常は、「推奨設定」にしてください。

(C) ハーフトーン

ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。

サポート情報の表示

プリンタードライバープロパティダイアログの［サポート］をクリックすると、サポート情報を参照できます。

(A)　**Brother Solutions Center**
（ブラザーソリューションセンター）

クリックすると、よくあるご質問（Q&A）、最新のドライバーやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

(B)　**ブラザー純正消耗品のご案内**

クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

第 9 章 スキャナー

このユーザーズガイド 応用編は MFC-735CD/735CDW/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN をタッチパネルモデル、それ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

スキャナーとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をスキャナーとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバーをインストールする必要があります。

また、Presto! PageManager を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。
Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編 / ネットワーク編）をご覧ください。

- ドライバーやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をお読みください。
- スキャン TO OCR を利用するには、必ず Presto! PageManager のインストールが必要です。Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編 / ネットワーク編）をご覧ください。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は次のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンボタンからネットワークスキャン機能を使うには、スキャンしたデータを受信する Macintosh でスキャンボタンの登録が必要です。スキャンボタンの登録が完了すると、本製品のスキャンボタンを押したときに選択項目として登録した Macintosh の名前が表示されます。
  ⇒ 111 ページ「ネットワークスキャン機能を使用する前に」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

やりたいこと	使用する機能または アプリケーション	詳細	ページ
スキャンデータを編集したい	スキャン TO イメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	112ページ
	スキャン TO OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word 等で編集できます。	113ページ
	TWAIN ドライバー対応のアプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	121ページ
スキャンデータを送りたい	スキャン TO E メール添付	スキャンしたデータを Macintosh から新規メールとして送信します。（複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。）	114ページ
スキャンデータを保存したい	スキャン TO ファイル	スキャンしたデータを Macintosh 上のハードディスクに保存します。	115ページ
	スキャン TO メディア	スキャンしたデータを本製品に差し込んだメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存します。	116ページ

ネットワークスキャン機能を使用する前に

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを受信する Macintosh でスキャンボタンの登録が必要です。
ネットワーク上の他の製品を設定する場合にも、次の手順で設定を行います。

注意

- ネットワークに対応していないモデルをお使いの場合は、ネットワークスキャン機能は使用できません。
- あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「TCP/IP の設定」

すでにネットワークプリンターとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

1 [Macintosh HD] －［ライブラリ］－ [Printers] －［Brother］－ [Utilities] －［DeviceSelector］の［デバイスセレクタ］をダブルクリックする

「デバイスセレクタ」画面が開きます。

デバイスセレクタは ControlCenter2 からも開くことができます。
⇒ 142 ページ「ControlCenter2 の画面」

2 ［ネットワーク］を選ぶ

3 ［パソコンを本製品のスキャンキーへ登録］をチェックして、［表示名］に Macintosh の名前を入力する

4 必要に応じて、項目を設定する

- 本製品が設定されていない場合または異なる製品を設定したい場合、［検索］をクリックして該当する製品名 (mDNS サービス名) を選択します。
- 製品の IP アドレスを手動で入力して設定することもできます。

5 ［OK］をクリックする

スキャンボタンからスキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
［パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする］をチェックして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

本製品からスキャンする（Macintosh に送る場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を押してスキャンしたデータを、Macintosh に送ってさまざまな形で利用します。
本製品をネットワークに接続してお使いの場合は、まずスキャンボタンの登録を行ってください。
⇒ 111 ページ「ネットワークスキャン機能を使用する前に」

スキャンした原稿をアプリケーションに送る

[スキャン TO イメージ]

原稿をスキャンして、画像データとして Macintosh に保存します。

あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter2 で確認してください。設定の変更も ControlCenter2 から行います。⇒ 144 ページ「スキャンの設定を変更する」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【イメージ：PC 画像表示】を選び、OK を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先の Macintosh を選び、OK を押す

表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ
(2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
(3) すべて入力したら、OK を押す

※ 修正するには クリア/バック を押してください。
※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

あらかじめ ControlCenter2 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿が画像データとして表示されます。

ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【イメージ：PC 画像表示】を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先の Macintosh を選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。
表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
(2) OK を押す

※ 修正するには クリア を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

あらかじめ ControlCenter2 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿が画像データとして表示されます。

ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動します。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

[スキャン TO OCR]

文字の入った原稿をスキャンして、Macintosh で編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

スキャン TO OCR を利用するには、必ず Presto! PageManager のインストールが必要です。Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編 / ネットワーク編）をご覧ください。

あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter2 で確認してください。設定の変更も ControlCenter2 から行います。⇒ 144 ページ「スキャンの設定を変更する」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【OCR：テキストデータ変換】を選び、OK を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先の Macintosh を選び、OK を押す

表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ

(2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ

(3) すべて入力したら、OK を押す

※ 修正するには クリア/バック を押してください。

※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

文字データのため、モノクロでスキャンされます。

スキャンされた原稿が文字データへ変換され、テキストデータが表示されます。

ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【OCR：テキストデータ変換】を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先の Macintosh を選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。
表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する

(2) OK を押す

※ 修正するには クリア を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

文字データのため、モノクロでスキャンされます。

スキャンされた原稿が文字データへ変換され、テキストデータが表示されます。

ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動します。

スキャンした画像を E メールで送る

［スキャン TO E メール添付］

スキャンした画像を添付ファイルとして、Macintosh のメールソフトの送信画面を起動します。

あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter2 で確認してください。設定の変更も ControlCenter2 から行います。⇒ 144 ページ「スキャンの設定を変更する」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【E メール：E メール添付】を選び、OK を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先の Macintosh を選び、OK を押す

表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ

(2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ

(3) すべて入力したら、OK を押す

※ 修正するには クリア/バック を押してください。

※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

あらかじめ ControlCenter2 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿を添付ファイルとして、Macintoshのメールソフトの送信画面が表示されます。

ControlCenter2 で設定されているメールソフトが起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【E メール：E メール添付】を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先の Macintosh を選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。

(1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する

(2) OK を押す

※ 修正するには クリア を押してください。

5 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

あらかじめ ControlCenter2 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿を添付ファイルとして、Macintoshのメールソフトの送信画面が表示されます。

ControlCenter2 で設定されているメールソフトが起動します。

スキャンした画像を指定したフォルダーに保存する

[スキャン TO ファイル]

原稿をスキャンして Macintosh の指定したフォルダーに保存します。

> あらかじめ、スキャンするデータの形式や使用するアプリケーションなどの設定は ControlCenter2 で確認してください。設定の変更も ControlCenter2 から行います。⇒ 144 ページ「スキャンの設定を変更する」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼ で、【ファイル：フォルダ保存】を選び、OK を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼ で保存先の Macintosh を選び、OK を押す

表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲/▼ で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア/バック を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、ダイヤルボタンを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

あらかじめ ContorolCenter2 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿が保存されます。

> ControlCenter2 で設定されている保存先に、指定したファイル形式で保存されます。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【ファイル：フォルダ保存】を押す

Macintosh に USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先の Macintosh を選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のMacintoshを選びます。

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだあとに、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア を押してください。

5 モノクロスタート または カラースタート を押す

あらかじめ ContorolCenter2 で設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

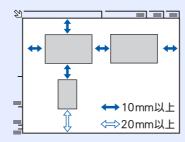
スキャンされた原稿が保存されます。

> ControlCenter2 で設定されている保存先に、指定したファイル形式で保存されます。

本製品からスキャンする（Macintosh に送らない場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を使ってスキャンする方法を説明します。

注意

■ 複数の原稿を一度にスキャンする場合（おまかせ一括スキャン）は、原稿セット時に次のような制限があります。
・ADF からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
・すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
・原稿台ガラスの端から 10mm 以上（手前部分のみ 20mm 以上）空けてセットしてください。
・原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
・原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
・短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
・一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

スキャンした原稿をメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存する

[スキャン TO メディア]

本製品でスキャンした画像を、Macintosh を使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 スキャン を押す

4 ▲/▼ で、【メディア：メディア保存】を選び、OK を押す

5 ▲/▼ で、【スキャン画質】を選び、◀/▶ で、画質を選んで OK を押す

画質は次から選びます。
【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

6 ▲/▼ で、【ファイル形式】を選び、◀/▶ で、ファイル形式を選んで OK を押す

ファイル形式は次から選びます。
- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
【PDF ／ JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
【PDF ／ TIFF】

DCP-390CN/595CN の場合、手順 8 へ進みます。

7 ▲/▼ で、【ファイル名】を選び、ダイヤルボタンで保存するファイルの名前を入力し、OK を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。
- あらかじめ、設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
例）2011 年 5 月 3 日の場合は、「110503XX」という名前が付けられます。（「XX」は通し番号です）
- ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベット、数字、記号で付けてください。
- 間違って入力した場合は、クリア/バック を押してファイル名を消去します。

8 を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。すべての原稿がスキャンされたら終了です。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか?/はい⇒1を押してください/いいえ⇒2を押してください】と表示されます。

※ DCP-390CN/595CN の場合は、【次の原稿はありますか?/はい⇒⊞を押してください/いいえ⇒⊟を押してください】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 11 へ

読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 1 (MFC モデルの場合)または 枚数+ (DCP モデルの場合)を押す

【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されます。

注意

■ 【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押したり、操作しないでしばらく放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、OK を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 9、10 を繰り返します。

11 すべての原稿をスキャンしたら、2 (MFC モデルの場合)または 枚数− (DCP モデルの場合)を押す

スキャンを終了します。

注意

■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

DCP-390CN/595CN の場合、ファイル名はスキャンした日付が自動的に付けられています。本製品からファイル名を変更することはできません。

例) 2011 年 5 月 3 日の場合は、「110503XX」という名前が付けられます。(「XX」は通し番号です)

複数の原稿を一度にスキャンする(おまかせ一括スキャン)

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

(2) 原稿台ガラスに原稿をセットする

(3) スキャン を押す

(4) ▲/▼ で【メディア:メディア保存】を選び、OK を押す

(5) ▲/▼ で、【スキャン画質】を選び、◀/▶ で、画質を選んで OK を押す

(6) ▲/▼ で【ファイル形式】を選び、◀/▶ で保存するファイル形式を選んで、OK を押す

- 【PDF / TIFF】:
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】:
  個別のファイルとして保存します。

(7) ▲/▼ で【おまかせ一括スキャン】を選び、◀/▶ で【オン】を選んで、OK を押す

(8) スタート モノクロ または カラー スタート を押す

◆ スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(9) OK を押す

◆ スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◀ / ▶ で次の画像を確認することができます。

(10) OK を押す

◆ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

タッチパネルモデルの場合

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 スキャン を押す

4 【メディア：メディア保存】を押す

5 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

画質は次から選びます。
【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

6 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

ファイル形式は次から選びます。

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
  【PDF ／ JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
  【PDF ／ TIFF】

7 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、OK を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

- あらかじめ、設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
  例）2011 年 5 月 3 日の場合は、「110503XX」という名前が付けられます。（「XX」は通し番号です）
- ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベット、数字、記号で付けてください。
- 間違って入力した場合は、⌫ を押して消去します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。すべての原稿がスキャンされたら終了です。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 11 へ
読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

注意

■ 【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押したり、操作しないでしばらく放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 9、10 を繰り返します。

11 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押す

スキャンを終了します。

注意

■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

(2) 原稿台ガラスに原稿をセットする

(3) スキャン を押す

(4) 【メディア：メディア保存】を押す

(5) 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

(6) 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 【PDF ／ TIFF】：
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7) ◀/▶ を押して画面をスクロールさせ、【おまかせ一括スキャン】を押す

(8) 【オン】を押す

(9) スタート モノクロ または カラー スタート を押す

◆ スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10) OK を押す

◆ スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◄ / ► で次の画像を確認することができます。

(11)【全て保存】を押す

◆ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに画像が保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

アプリケーションからスキャンする（TWAIN）

本製品のドライバーは TWAIN 対応です。ドライバーにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

TWAIN 対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルでは、ADF を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。

Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編 / ネットワーク編）をご覧ください。

1 Presto! PageManager を起動する

2 ［ファイル］メニューから［ソースの選択］－［TWAIN］を選択する

「入力源を選択」画面が表示されます。

3 「Brother TWAIN」を選択し、［選択］をクリックする

4 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

5 ［ファイル］メニューから［原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む］を選ぶ

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。

- いったん画像を確認（プレスキャン）する場合⇒手順 6 へ
- そのままスキャンする場合⇒手順 8 へ

6 ［プレスキャン］をクリックする

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合：
・プレスキャンのため原稿が一度排出されます。複数枚の原稿をセットしている場合は、すべての原稿が読み込まれて排出されますが、プレビュー画面には最後に読み取った画像のみが表示されます。
・スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スタート］をクリックします。

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

7 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスで点線の側面または端をドラッグします。

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）で複数枚の原稿をスキャンする場合は、プレビュー画面に表示された 1 枚目の画像でスキャン範囲を指定すると、その指定範囲がすべての原稿に適用されます。

8 解像度や明るさなどの項目を設定する

⇒ 122 ページ「TWAIN ダイアログボックスの設定について」

9 ［スタート］をクリックする

原稿がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

10 スキャンが完了したら、［キャンセル］をクリックし、TWAIN ダイアログボックスを閉じる

11 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

TWAIN ダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。

① 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は次のとおりです。
モデルによって表示される解像度は異なります。

解像度	白黒 / グレイ (誤差拡散方式) /256 階調グレイ	8 ビット カラー	24 ビット カラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 24 ビットカラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、8 ビットカラーを使用した場合の約 3 倍になります。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスクの容量もスキャンにかかる時間も増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

② 色数

取り込む色数を設定します。

設定	内容
白黒	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレイ (誤差拡散方式)	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレイ	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
8 ビットカラー	256 色のカラーで取り込みます。カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
24 ビットカラー	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。

③ 原稿サイズ

次のいずれかのサイズを設定します。

設定	サイズ
A4	210 × 297mm
JIS B5	182 × 257mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル＊1	215.9 × 355.6mm
A5	148 × 210mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
名刺	90 × 60mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
カスタム＊2	

＊1　ADF 搭載モデルのみ対応しています。

＊2　「カスタム」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。8.9 × 8.9mm から 215.9 × 297mm まで調整できます。ADF 搭載モデルでは 215.9 × 355.6mm まで調整できます。ADF 搭載モデルで、215.9 × 297mm 以上のサイズを選んだ場合は、ADF に原稿をセットしてください。

- カスタムサイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスで、スキャン範囲の点線をドラッグします。
- 名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

④ イメージ調整

クリックすると次の画面が表示されます。

(A)　**カスタム**

明るさ、コントラストを調整します。

注意

■ ②色数で「白黒」を選んだ場合は「明るさ」のみが調節できます。「8 ビットカラー」や「24 ビットカラー」を選んだ場合は「明るさ」、「コントラスト」の調節ができません。

(B)　ColorSync

- マッチングスタイル
  ColorSync を使って色補正を行う場合の基準を設定します。

設定	内容
知覚的（画像）	写真のようなイメージのとき選びます。
彩度（グラフィックス）	はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。
相対的な色域を維持	色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。
絶対的な色域を維持	シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。

- スキャナ用プロファイル
  「Brother sRGB Scanner」を選びます。

(C)　**ノイズ軽減**

スキャンした画像のノイズを軽減します。スキャンした画像に乱れがある場合や、印刷すると縞状のパターンが発生する場合に使用します。
24bit カラーで解像度が 300 × 300dpi、400 × 400dpi、または 600 × 600dpi の場合に設定できます。

ICA ドライバーを使ってスキャンする（Mac OS X 10.6.x）

Mac OS X 10.6.x をお使いの場合、標準装備されているイメージキャプチャまたは「プリントとファクス」を利用して原稿をスキャンできます。

イメージキャプチャでスキャンする

イメージキャプチャを使用するためには、最新の ICA スキャナードライバーのインストールが必要です。ICA スキャナードライバーは、付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM には同梱されていません。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）から最新の ICA スキャナードライバーを含むプリンタードライバーをダウンロードして、インストールしてください。自動的に ICA スキャナードライバーもインストールされます。
イメージキャプチャを使用して原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。

1 イメージキャプチャを起動する

2 画面左側の一覧から、本製品を選ぶ

本製品と Macintosh を USB ケーブルで接続している場合は「デバイス」、ネットワーク接続の場合は「共有」の欄に表示されます。

> 接続されている本製品が 1 台の場合、この操作は必要ありません。

3 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

4 「モード」と「スキャンサイズ」を選ぶ

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、「モード」で「書類フィーダ」を選び、「スキャンサイズ」でスキャンする原稿のサイズを選ぶ⇒手順 6 へ
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、「モード」で「フラットベッド」を選ぶ⇒手順 5 へ

> ADF（自動原稿送り装置）搭載モデルでない場合、この操作は必要ありません。

5 「個別に検出」をするかしないかを選ぶ

「個別に検出」のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。

> チェックを入れていても、複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

6 「スキャン先」でスキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選ぶ

そのままスキャンする場合⇒手順 8 へ

7 ［詳細情報を表示］をクリックしてスキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

⇒ 125 ページ「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」

注意

- 詳細設定を行う場合は、手順 6 で設定した「スキャン先」の内容が保持されないことがあります。もう一度、「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」（125 ページ）の⑦「スキャン先」を設定しなおしてください。

8 ［スキャン］をクリックする

イメージキャプチャダイアログボックスの設定について

［詳細情報を表示］をクリックして表示されるイメージキャプチャダイアログボックスでは、次の項目を設定できます。お使いのモデルによっては、表示される項目が異なる場合があります。

① スキャンモード（モード）

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は「書類フィーダ」、原稿台ガラスからスキャンする場合は「フラットベッド」を選びます（ADF 搭載モデルのみ）。

② 種類

「カラー」、「白黒」または「テキスト」を選びます。

③ 解像度

スキャンする解像度を選びます。

④ サイズ（スキャンサイズ）

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は原稿のサイズを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合は、読み取り範囲を設定します。

⑤ 回転角度（方向）

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は原稿の向きを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合は、読み取り角度を設定します。

⑥ 連続していない項目を検出

「連続していない項目を検出」のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。

⑦ スキャン先

スキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選びます。

注意

■ 「イメージキャプチャでスキャンする」（124 ページ）の手順 6 で「スキャン先」を設定していても、内容が保持されないことがあります。もう一度、「スキャン先」を設定しなおしてください。

⑧ 名前

スキャンされた画像ファイル名につける文字を入力します。

⑨ フォーマット

スキャンするデータ形式を選びます。

⑩ イメージ補正

「マニュアル」を選ぶと、明度、色合い、色温度、彩度を調整できます。

「プリントとファクス」でスキャンする

お使いの Macintosh の「プリントとファクス」に本製品が登録されていると、そこから直接スキャンできます。「プリントとファクス」を使用して原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。

1 アップルメニューから「システム環境設定」を選ぶ

2 「プリントとファクス」をクリックする

3 画面左側の一覧から本製品を選び、［プリントキューを開く］をクリックする

4 「スキャナ」をクリックする

5 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

6 「モード」と「スキャンサイズ」を選ぶ

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、「モード」で「書類フィーダ」を選び、「スキャンサイズ」でスキャンする原稿のサイズを選ぶ⇒手順 8 へ
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、「モード」で「フラットベッド」を選ぶ⇒手順 7 へ

> ADF（自動原稿送り装置）搭載モデルでない場合、この操作は必要ありません。

7 「個別に検出」をするかしないかを選ぶ

「個別に検出」のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。

> チェックを入れていても、複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

8 「スキャン先」でスキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選ぶ

9 ［詳細情報を表示］をクリックしてスキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

⇒ 127 ページ「Brother XXX-XXXX ダイアログボックスの設定について」

10 ［スキャン］をクリックする

Brother XXX-XXXX ダイアログボックスの設定について

［詳細情報を表示］をクリックして表示される Brother XXX-XXXX ダイアログボックスでは、次の項目を設定できます。お使いのモデルによっては、表示される項目が異なる場合があります。

① スキャンモード（モード）

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は「書類フィーダ」、原稿台ガラスからスキャンする場合は「フラットベッド」を選びます（ADF 搭載モデルのみ）。

② 種類

「カラー」、「白黒」または「テキスト」を選びます。

③ 解像度

スキャンする解像度を選びます。

④ サイズ（スキャンサイズ）

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は原稿のサイズを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合は、読み取り範囲を設定します。

⑤ 回転角度（方向）

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は原稿の向きを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合は、読み取り角度を設定します。

⑥ 連続していない項目を検出

「連続していない項目を検出」のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。

⑦ スキャン先

スキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選びます。

⑧ 名前

スキャンされた画像ファイル名につける文字を入力します。

⑨ フォーマット

スキャンするデータ形式を選びます。

⑩ イメージ補正

「マニュアル」を選ぶと、明度、色合い、色温度、彩度を調整できます。

第 10 章 PC-FAX（MFC モデルのみ）

Macintosh からファクスを送る

Macintosh 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。

注意

■ Macintosh では、PC-FAX の受信機能は使用できません。
■ DCP モデルをお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
■ PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

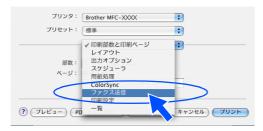
1 Macintosh 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

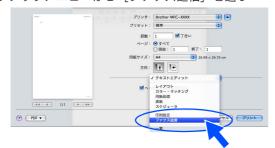
2 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

「プリンタ」に本製品のモデル名が表示されていることを確認します。

プリントダイアログ画面が表示されます。

3 ファクス送信画面を表示する

(A)　Mac OS X 10.3.9 から 10.4.11 の場合
ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

(B)　Mac OS X 10.5.x から 10.6.x の場合
「プリンタ」の▼ボタンをクリックする

「テキストエディット」をクリックして表示されたポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

4 「出力先」で［ファクシミリ］を選ぶ

5 「ファクス番号」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする

複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

6 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

アドレスブックを利用する

Macintosh のアドレスブックを使用して、ファクスの送信先を簡単に設定できます。

アドレスブックから送信先を設定する

Mac OS X 10.3.9 から 10.4.11 の場合

アドレスブックから vCard（vcf 形式）をドラッグして送信先を設定できます。

1 ［アドレスブック］をクリックする

アドレスブックが表示されます。

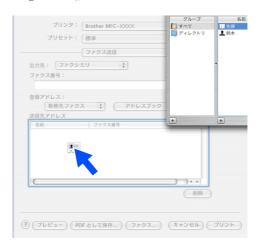
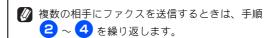
2 送信先のファクス番号が登録されている vCard（vcf 形式）を選ぶ

3 「登録アドレス」のポップアップメニューから、送信先の項目を選ぶ

注意

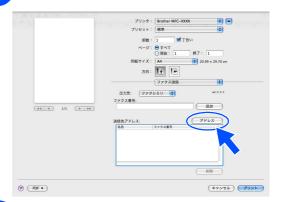
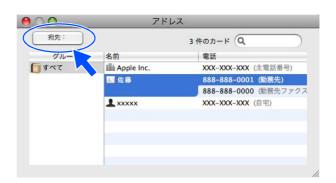
- 送信先アドレスは、［登録アドレス］を選ぶことで自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が決定されます。
  自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録された vCard（vcf 形式）を使用してください。
- vCard（vcf 形式）内に登録されているファクス番号の種類がひとつの場合は、［登録アドレス］の選択に関係なく送信先として設定されます。

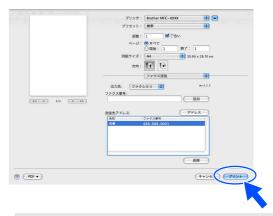
4 送信したいファクス番号の vCard（vcf 形式）をドラッグして、「送信先アドレス」まで移動させる

複数の相手にファクスを送信するときは、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

5 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

Mac OS X 10.5.x から 10.6.x の場合

1 ［アドレス］をクリックする

2 送信先を選んで［宛先：］をクリックする

複数の相手にファクスを送信するときは、手順 2 を繰り返します。

3 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

第 11 章 フォトメディアキャプチャ

Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

使用できるメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー

本製品では、次のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用できます。

コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 16GB）

メモリースティック TM（最大 128MB）
メモリースティック PROTM（最大 16GB）

xD-Picture CardTM
（最大 512MB）
xD-Picture CardTM TypeM/TypeM+/TypeH
（最大 2GB）

SD メモリーカード
（最大 2GB）
SDHC メモリーカード
（最大 16GB）

USB フラッシュメモリー（最大 32GB）
（MFC-675CD/675CDW は対応していません。）

※ メモリースティック デュオ TM、メモリースティック PRO デュオ TM、メモリースティック マイクロ TM（M2TM）も使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※ miniSD カード /microSD カードも使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※ 著作権保護機能には対応していません。

注意

■ スマートメディア、マイクロドライブ、マルチメディアカード TM には対応していません。

本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、本製品の正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

① USB フラッシュメモリー
（MFC-675CD/675CDW は対応していません。）
② コンパクトフラッシュ®
③ SD メモリーカード、SDHC メモリーカード
④ メモリースティック TM、メモリースティック PROTM
⑤ xD-Picture CardTM、xD-Picture CardTM TypeM/TypeM+/TypeH

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに USB 接続した Macintosh からアクセスし、「リムーバブルディスク」として使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

2 デスクトップに表示されたリムーバブルディスクのアイコン（※）をダブルクリックする

※ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにボリューム名が設定されている場合は、その名称が表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。

3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、Macintosh へコピーしたりできます。

また、Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みもできます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

- この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ネットワーク経由で他の Macintosh がメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
- メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存された写真を本製品の画面に表示しているとき、および保存されたデータをプリントしているときは、Macintosh からはアクセスできません。
- OS 標準のウェブブラウザーでは、ネットワーク経由でアクセスできません。
- ご使用のFTPソフトウェアによって操作方法が異なる場合があります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

2 FTP ソフトウェアまたは FTP をサポートしているウェブブラウザーを起動する

3 アドレス欄に本製品の IP アドレスを入力する

例）192.168.0.10 の場合は、「ftp://192.168.0.10」と入力します。

4 ファイルを表示したり、別のドライブにコピーする

ファイルを別のドライブに保存するときは、［control］キーを押しながらファイルをクリックし、表示されるメニューから「画像をディスクにダウンロード」を選びます。

また、Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みもできます。

> ネットワーク経由でメモリーカードや USB フラッシュメモリー内のファイルを扱う場合は、ファイル名を半角英数字にしてください。漢字・ひらがな・カタカナなどのファイル名は文字化けします。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す（USB 接続のみ）

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、次の手順で取り出します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照しているソフトウェアをすべて終了する

2 ［リムーバブルディスク］アイコンをゴミ箱にドラッグする

本製品の デジカメプリント が点滅することがあります。（点滅しなくても異常ではありません。）

3 本製品の デジカメプリント が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く

注意

■ 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるとき（ デジカメプリント 点滅中）は、電源プラグや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが損傷を受けることがあります。

■ 誤って デジカメプリント が点滅中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh をすぐに再起動したあと、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。Macintosh を再起動する前に他のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。

■ Macintosh のデスクトップにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されているときは、本製品の「フォトメディアキャプチャ」機能は使用できません。デスクトップに表示されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをゴミ箱に移動したあと、ご使用ください。

■ 誤ってアクセスランプが点灯中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh の「システム終了」を実行できなくなることがあります。その場合は、本製品と接続している USB ケーブルを抜いてから Macintosh の「システム終了」を実行してください。

第 12 章 リモートセットアップ (MFC モデルのみ)

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、Macintosh から簡単に操作ができます。
リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

- DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。
- PC-FAX ご利用中はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX を終了させてから操作してください。

本製品の設定を Macintosh から変更する

リモートセットアップを使って本製品の設定を変更するときは、次の手順で操作します。

1 「リモートセットアップ」を起動する

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［RemoteSetup］アイコンをダブルクリックします。

現在本製品に設定されている内容がMacintoshにダウンロードされ、リモートセットアップの画面が表示されます。

注意

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。

設定し終わったら、［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

> リモートセットアップは、ControlCenter2 からも実行できます。
>
> ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、［Macintosh HD］ － ［ライブラリ］ － ［Printers］ － ［Brother］ － ［Utilities］ － ［DeviceSelector］ － ［デバイスセレクタ］ から、ネットワークの再設定をしてください。

その他の操作について

リモートセットアップの設定では、設定内容をファイルとして保存したり、印刷したりすることができます。

① **エクスポート**

現在の設定内容をファイルに保存します。

② **インポート**

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ **印刷**

「電話帳登録（デンワチョウトウロク）」画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］ をクリックしてください。

④ **OK**

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］ をクリックしてください。

⑤ **キャンセル**

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ **適用**

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

本製品の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。Macintosh のキーボードを使用して名前などを入力できるので、本製品の操作パネルやタッチパネルから入力する場合に比べて、簡単です。

本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号 00 ～ 99（最大 100 件× 2 番号）に登録します。

1 リモートセットアップ画面の左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」に相手先の名前を入力する

全角で入力してください。10文字まで入力できます。

3 「ヨミガナ」に相手先名称の読みがなを入力する

半角カタカナで入力してください。16 文字まで入力できます。

4 「種別」のポップアップメニューから［F/T］を選ぶ

5 「FAX/TEL 番号」に電話またはファクス番号を入力する

電話、ファクス番号は、1 つの短縮番号に 2 つまで登録できます。

6 必要に応じて「着信」、「着信音」をそれぞれ選択する

着信は、【ファクス／迷惑指定／電話】から選びます。【電話】を選んだ場合は、「着信音」のポップアップメニューからメロディを選びます。

- 【ファクス】
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【迷惑指定】
  着信音が鳴りません。
- 【電話】
  親機の着信音が鳴ります。

着信鳴り分け設定（「着信」、「着信音」）は、ナンバー・ディスプレイサービスを電話会社と契約し、本製品のナンバーディスプレイ設定を【あり】に設定しているときのみ、有効です。
⇒ユーザーズガイド　基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

子機の着信音はリモートセットアップ画面では設定できません。子機側で着信音を設定してください。

7 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を 1 つのグループとして登録しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

> 1 つのグループダイヤルに登録できる件数は、数に制限はありません。
>
> グループダイヤルも 1 件として短縮ダイヤルに登録されます。短縮ダイヤルに空きがなければ登録できません。

1 リモートセットアップ画面の左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」にグループ名を入力する

全角で入力してください。10文字まで入力できます。

3 「ヨミガナ」にグループ名の読みがなを入力する

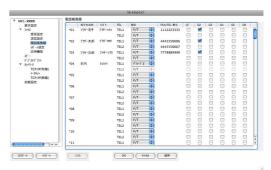
半角カタカナで入力してください。16 文字まで入力できます。

4 「種別」のポップアップメニューからグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは「グループ 2」を選びます。

5 グループに登録する相手先のグループ番号のチェックボックスにチェックを入れる

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」にチェックを入れます。

6 [OK] をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

> [OK] をクリックしてもエラー画面が表示される場合、エラー内容をよくお読みになり、画面の指示に従ってください。次のような場合にもエラーが表示されます。
> ・相手先のグループ番号に 1 つもチェックが入っていない。
>
>
>
> ・グループの行にチェックが入っている。
>
>
>
> ・相手先の「FAX/TEL 番号」が入力されていない行のグループ番号にチェックが入っている。
> ・使用できない文字が入力されている。
> ・入力文字制限数を超えて入力されている。

第 13 章 便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナー、PC-FAX などの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2 の画面

ControlCenter2 では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。

(1) モデル	ControlCenter2 を使用するモデルをポップアップメニューから選択できます。 また、「その他 ...」を選択すると本製品と Macintosh を接続して使用する際に設定が必要なデバイスセレクタ画面が表示されます。
(2) 設定	設定ボタンから、各機能の詳細設定画面を開くこともできます。
(3) スキャン	使用目的に応じて、原稿をスキャンします。クリックするだけで、画像データとして保存したり、E メールにデータを添付することができます。
(4) カスタム	良く使用する設定やソフトウェアを登録できます。よく使う設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたスキャンを実行できます。
(5) コピー /PC-FAX	原稿をコピーします。コピーするときの設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたコピーを実行できます。 スキャンしたデータを本製品を使用してファクスとして送信します。 ※ DCP モデルをお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
(6) デバイス設定	インク残量の確認や、本製品の電話帳の登録などができます。

ControlCenter2 を起動する

1 [MacintoshHD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] － [ControlCenter] から [ControlCenter] アイコンをダブルクリックする

メニューバーに が表示されます。

2 メニューバーの をクリックして、[開く] を選ぶ

ControlCenter2 のウィンドウが表示されます。

起動時の動作を設定する

Macintosh を起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

(1) メニューバーの をクリックして、[起動状態の設定] を選ぶ

◆「起動状態の設定」画面が表示されます。

(2) 起動時の動作を選ぶ

- パソコン起動時に起動する
  Macintosh 起動時に ControlCenter2 が自動的に起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く
  ControlCenter2起動時に自動的にウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3) [OK] をクリックする

スキャン

使用する目的に応じて、原稿をスキャンします。本製品のスキャンボタンの設定も変更できます。

スキャンを実行する

ControlCenter2 からスキャンを実行します。

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「スキャン」をクリックする

3 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。

- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「E メール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されています。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

OCR を利用するには、必ず Presto! PageManager のインストールが必要です。Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編 / ネットワーク編）をご覧ください。

スキャンの設定を変更する

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。
本製品のスキャンボタンからスキャンする場合の設定も、ここで変更できます。

1 [control] キーを押しながら「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

スキャンの設定画面が表示されます。

2 「ControlCenter の設定」タブまたは「本体スキャンボタンの設定」タブをクリックして、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。
⇒ 145 ページ「スキャンの設定」

本製品のスキャンボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本体スキャンボタンの設定」タブをクリックして、設定を変更します。

3 [OK] をクリックする

設定が変更されます。

スキャンの設定

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。設定できる項目は、ボタンによって異なります。

● 主な設定項目

（代表で「スキャン TO イメージ」の画面を使用しています。）

① ControlCenter の設定タブ

ControlCenter2 からスキャンする場合の設定の確認や変更ができます。

② 本体スキャンボタンの設定タブ

本製品の操作パネルにあるスキャンボタンからスキャンする場合の設定の確認や変更ができます。

③ 使用するアプリケーション（「イメージ」、「OCR」）／使用する E メールアプリケーション（「E メール」）

スキャンした原稿を開くアプリケーション、またはスキャンした原稿を添付する E メールアプリケーションを選択します。④の「追加」をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

④ 追加（「ファイル」以外）

使用するアプリケーションまたは、E メールアプリケーションを追加できます。クリックすると次の画面が表示されます。

(A) アプリケーションの名前

アプリケーションの名前を入力します。（全角 15 文字、半角 30 文字まで入力できます。）

(B) アプリケーション

［参照 ...］をクリックして追加したいアプリケーションのパスを指定します。

(C) ファイル形式

ポップアップメニューからファイル形式を選択します。

⑤ 削除（「ファイル」以外）

クリックすると、④の「追加」で追加したアプリケーションを削除できます。

⑥ ファイル形式

スキャンするデータのファイル形式を選択します。

- スキャン TO イメージ /E メール / ファイルの場合
  - •Windows ビットマップ（.bmp）
  - •JPEG（.jpg）
  - •TIFF（.tif）
  - •TIFF マルチページ（.tif）
  - •Portable Network Graphics（.png）
  - •PDF（.pdf）
  - •パスワード付き PDF（.pdf）

TIFF、TIFF マルチページを選択した場合は、圧縮／非圧縮を設定してください。

TIFF マルチページ、PDF、パスワード付き PDF を選択すると、複数枚の原稿を 1 つのファイルとしてまとめて作成します。

パスワード付き PDF を選択すると、PDF ファイルを開くときのパスワードが設定できます。
次の画面が表示されます。

「PDF を開くパスワード」と「PDF を開くパスワード（確認）」に同じパスワードを入力して、［OK］をクリックします。スキャンしたデータに自動的にパスワードが設定され、保存されます。

- スキャン TO OCR の場合
  - •テキストファイル（.txt）
  - •リッチテキスト形式（.rtf）
  - •HTML ドキュメント（.htm）
  - •Excel 97（.xls）

⑦ ファイルサイズ（「OCR」以外）

⑥の「ファイル形式」で JPEG、PDF、パスワード付き PDF を選択すると、解像度は維持したまま、ファイルサイズを 5 段階で設定できます。

⑧ 解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト

必要に応じて設定します。

⑨ プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。

● スキャン TO OCR のみで設定可能な項目

① OCR アプリケーション

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCR ソフトウェア）を選択します。

② OCR 言語

変換する言語を選択します。

● スキャン TO ファイルのみで設定可能な項目

① ファイル名

ファイル名の先頭の文字を変更できます。

② 保存先フォルダを開く

チェックすると、スキャンしたあとに保存先のフォルダーを開きます。

③ 保存先フォルダ

スキャンしたデータを保存するフォルダーを設定します。

④ スキャン毎に名前をつける

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダーとデータの名前を設定することができます。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

1 ControlCenter2 の「カスタム」をクリックする

2 [control] キーを押しながらボタンをクリックする

カスタムスキャンの設定画面が表示されます。

3 スキャンの名前と種類を設定する

「カスタムの名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。

スキャンの種類は、「スキャン to イメージ」「スキャン to OCR」「スキャン to E メール」「スキャン to ファイル」から選びます。

OCR を利用するには、必ず Presto! PageManager のインストールが必要です。Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」（基本編 / ネットワーク編）をご覧ください。

4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

⇒ 145 ページ「スキャンの設定」

5 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタムスキャンを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「カスタム」をクリックする

3 実行するスキャンのボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PC-FAX

原稿をコピーしたり、Macintosh からファクスを送信します。コピーとファクス送信時の設定を 4 つまで登録できます。

コピーや PC-FAX の設定を登録する

1 ControlCenter2 の「コピー /PC-FAX」をクリックする

2 [Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

コピー設定画面が表示されます。

3 コピーの名前とサイズを設定する

「コピーの名前」に、登録するコピー設定の名前を入力します。
「コピー設定」で、「100%」または「用紙サイズに合わせる」を選びます。

4 他の項目を必要に応じて設定する

解像度、色数、原稿サイズ、明るさ、コントラストが設定できます。

5 「プリンタ」で本製品を選択する

6 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「コピー」をクリックする

3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、[OK] をクリックする

5 [プリント] をクリックする

コピーが実行されます。

ファクスする

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

注意

■ DCP モデルをお使いの場合、この機能は使用できません。

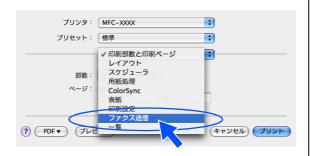
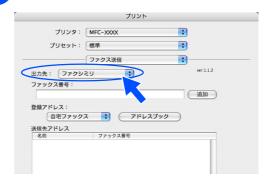
1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「コピー /PC-FAX」をクリックする

3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、[OK] をクリックする

5 ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

6 「出力先」で［ファクシミリ］を選ぶ

7 「ファクス番号」にファクス番号を入力し、[追加] をクリックする

複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号」にファクス番号を入力し、[追加] をクリックします。

8 [プリント] をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは、[キャンセル] をクリックします。

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

本製品の設定を確認・変更する

1 ControlCenter2 の「デバイス設定」から、「リモートセットアップ」「電話帳」「インク残量」のいずれかをクリックする

- 「リモートセットアップ」をクリックした場合
  リモートセットアップ画面が表示されます。Macintosh 上で、本製品に関する機能を設定できます。
  ⇒ 137 ページ「本製品の設定を Macintosh から変更する」
- 「電話帳」をクリックした場合
  リモートセットアップの電話帳設定画面が表示されます。Macintosh 上で、本製品の電話帳を編集できます。
  ⇒ 139 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」
- 「インク残量」をクリックした場合
  ステータスモニタが表示されます。

DCP モデルをお使いの場合は、「リモートセットアップ」と「電話帳」ボタンは表示されません。

ステータスモニタの画面について

(A) **モデル名**
インク残量を表示している本製品のモデル名が表示されます。

(B) **接続**
USB 接続の場合は「USB」と表示されます。ネットワーク接続の場合はIPアドレスまたはドメイン名が表示されます。

(C) **ステータスボタン**
クリックすると、本製品の現在の状態が画面に表示されます。

(D) **インク残量**
本製品のインク残量が表示されます。

(E) **ブラザー純正消耗品サイトのご案内**
クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

付　録

エラーメッセージが表示されたときは

本製品の画面にエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド 基本編の「エラーメッセージ」をご確認ください。ユーザーズガイド 基本編に記載された処置方法を行ってもエラーが解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた上でお客様相談窓口へご連絡ください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイド 基本編の「故障かな？と思ったときは」および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をご確認ください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

使用環境

Windows® の場合

本製品とパソコン（Windows®）を接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">CPU/ システムメモリー</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th><th rowspan="2">インターフェース</th><th rowspan="2">サポートしている機能</th></tr>
<tr><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td>Windows® 2000 Professional</td><td>Intel® Pentium® II プロセッサ相当またはそれ以上
/64MB（推奨 256MB）以上</td><td rowspan="3">110MB</td><td rowspan="3">340MB</td><td rowspan="5">USB2.0 ハイスピード、
有線＊[1]
（10BASE-T/ 100BASE-TX）、
無線＊[2]
（IEEE802.11b/g)</td><td rowspan="5">プリンター、
スキャナー、
PC-FAX 送信･受信＊[3]、
フォトメディアキャプチャ、
リモートセットアップ＊[3]、
RSS ＊[4]、
ControlCenter3</td></tr>
<tr><td>Windows® XP</td><td>Intel® Pentium® II プロセッサ相当またはそれ以上
/128MB（推奨 256MB）以上</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional x64 Edition</td><td>64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/256MB（推奨 512MB）以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td><td>Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当またはそれ以上
64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/512MB（推奨 1GB）以上</td><td>600MB</td><td>530MB</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当またはそれ以上
64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/32 ビット：1GB 以上
/64 ビット：2GB 以上</td><td>650MB</td><td>530MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003</td><td>Intel® Pentium® III プロセッサ相当またはそれ以上
/256MB（推奨 512MB）以上</td><td rowspan="3">50MB</td><td rowspan="3">－</td><td rowspan="3">有線＊[1]
（10BASE-T/ 100BASE-TX）、
無線＊[2]
（IEEE802.11b/g)</td><td rowspan="3">ネットワーク接続によるプリンター</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 x64 Edition</td><td>64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/256MB（推奨 512MB）以上</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008</td><td>Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当またはそれ以上
64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/512MB（推奨 2GB）以上</td></tr>
</table>

＊[1] 有線 LAN 対応モデルのみ
＊[2] 無線 LAN 対応モデルのみ
＊[3] MFC モデルのみ
＊[4] MFC-J950DN/J950DWN でネットワーク接続のみ

- CD-ROM ドライブが必要です。
- Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以上が必要です。（Microsoft® Internet Explorer® 6 以上を推奨します。）
- LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
- USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh の場合

本製品と Macintosh を接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">CPU/ システムメモリー</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th><th rowspan="2">インターフェース</th><th rowspan="2">サポートしている機能</th></tr>
<tr><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td rowspan="2">MFC-J950DN/J950DWN のみ</td><td>Mac OS X 10.4.11/ 10.5.x</td><td>PowerPC G4/G5、Intel® Core™ Processor /512MB（推奨 1GB）以上</td><td rowspan="4">80MB</td><td rowspan="4">400MB</td><td rowspan="4">USB2.0 ハイスピード、有線＊[1]（10BASE-T/ 100BASE-TX）、無線＊[2]（IEEE802.11b/g）</td><td rowspan="4">プリンター、スキャナー、PC-FAX 送信＊[3]、フォトメディアキャプチャ、リモートセットアップ＊[3]、ControlCenter2</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.6.x</td><td>Intel® Core™ Processor /1GB（推奨 2GB）以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">MFC-J950DN/J950DWN 以外</td><td>Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.3</td><td>PowerPC G4/G5、PowerPC G3 350MHz 以上 /128MB（推奨 256MB）以上</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.4.4 ～ 10.5.x</td><td>PowerPC G4/G5、Intel® Core™ processor /512MB（推奨 1GB）以上</td></tr>
</table>

＊[1] 有線 LAN 対応モデルのみ

＊[2] 無線 LAN 対応モデルのみ

＊[3] MFC モデルのみ

- CD-ROM ドライブが必要です。
- LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
- USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- USB1.1 対応の Macintosh とも接続できます。

> CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
>
> Mac OS X への対応状況は、弊社のサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にて最新の情報を公開しています。

索　引

か

き

こ

さ

し

す

そ

ふ

へ

め

よ

り

れ

特許、規制

VCCI 規格

本製品は、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system Professional x64 Edition です。
Windows Server® 2003 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating system です。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system です。
Windows Server® 2008 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
Windows® 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Flash、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Intel、Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion, Inc. の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
メモリースティック、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ、M2 はソニー株式会社の商標または登録商標です。
SD メモリーカードはパナソニック株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD-Picture Card は富士フイルム株式会社の商標です。
マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG の商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。